TOSHIBA

Cooking Book

家庭用
東芝過熱水蒸気コンベクションレンジ

取扱説明書・料理集

形 名 ER-D350

- このたびは東芝過熱水蒸気コンベクションレンジをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。
- この商品を安全に正しく使っていただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分理解してください。
- お読みになったあとはお使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書を必ずお受け取りください。

まず

安全上のご注意を必ず読む（6～12ページ）

お使いになる前に必ず守っていただきたいことを記載してあります。

初めに

アースを取り付ける（8ページ）

「安全上のご注意」を読んで必ず取り付けてください。

次に

庫内のカラ焼きをする（22ページ）

カラ焼きをして、庫内の油を焼き切ります。

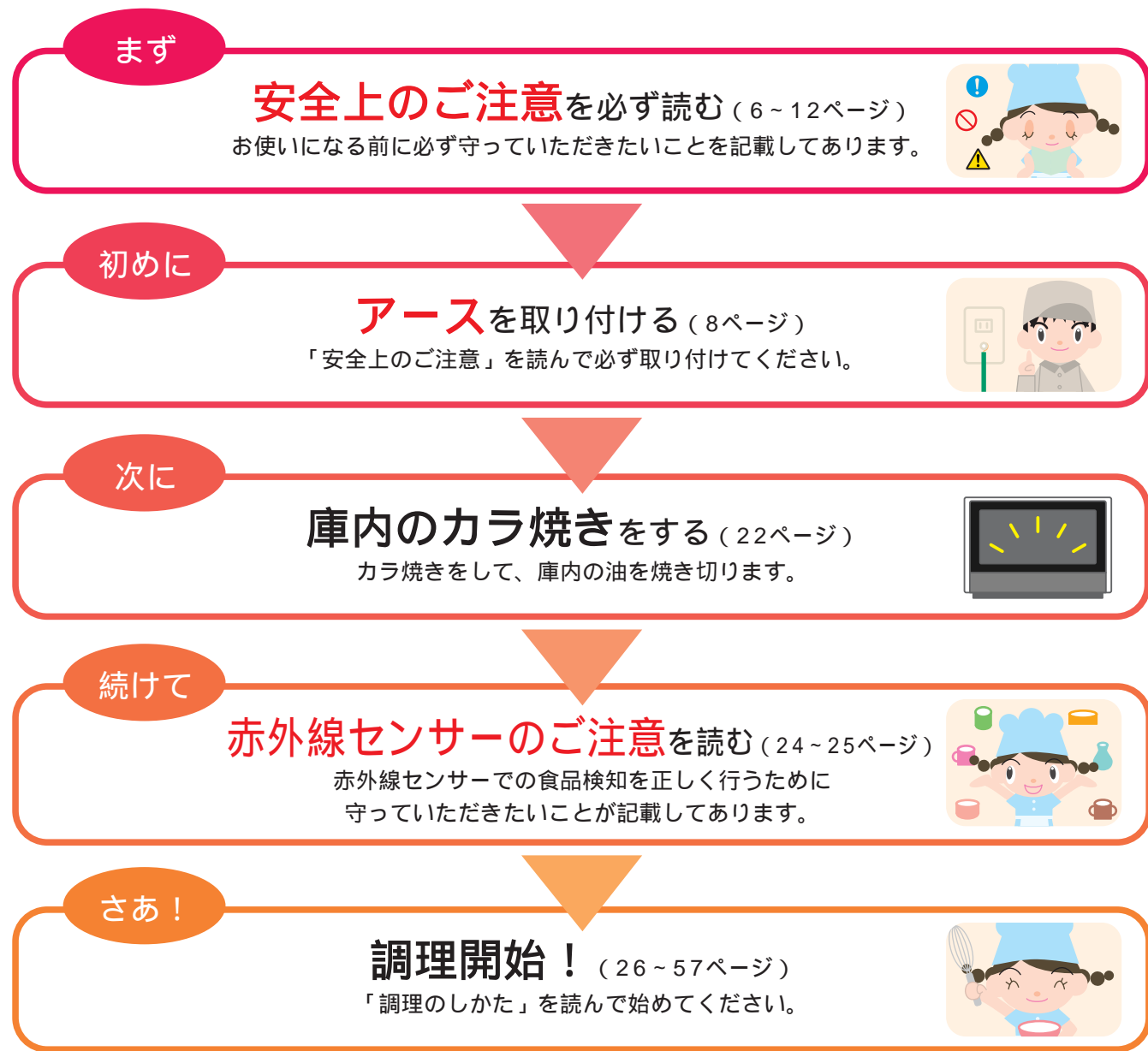
続けて

赤外線センサーのご注意を読む（24～25ページ）

赤外線センサーでの食品検知を正しく行うために
守っていただきたいことが記載してあります。

さあ！

調理開始！（26～57ページ）

「調理のしかた」を読んで始めてください。

オートパワーオフ（待機電力0）について

省エネルギーを目的に、使用していないとき自動的に電源が切れる機能です。

● 電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。
一度とびらを開けると電源が入ります。

■表示部に待機画面が表示されている状態で5分以上とびらの開閉がないと自動的に電源が切れます。

※調理終了後にとびらを一度も開けなかったときなど、自動的に電源が切れない場合があります。
そのようなときは、とびらを開閉すると5分後に電源が切れます。

■電源が自動的に切れた後は、とびらを開閉すると、電源が入り、表示部に初期画面を表示したあと、待機画面が表示されます。

もくじ

ご使用の前に

調理のしかた

料理集

知っておいていただきたいこと

こんなときは

この取扱説明書では次のように表しています。

操作手順	1 2 3
操作によって自動的に変わった状態	
表示部に表示されることば	のみもの

安全上のご注意 必ずお守りください

●製品および取扱説明書には、お使いになるかたや他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷*1を負うことが想定されること」を示します。

「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害*2を負うことが想定されるか、または物的損害*3の発生が想定されること」を示します。

図記号の説明

禁止
⃠は、禁止（してはいけないこと）を示します。
具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

●は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。
具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

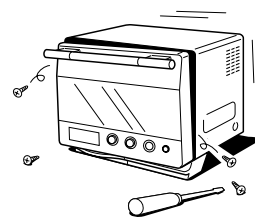
△は、注意を示します。
具体的な注意内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

＊1：重傷とは、失明や、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが、やけど、感電などをさします。
＊3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

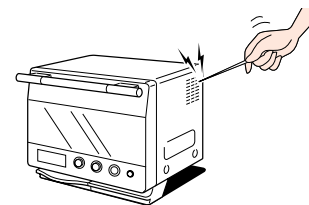
ご使用の前

⚠危険

分解禁止

自分で分解・修理・改造をしない
火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

禁止

吸気口、排気口、給水カセット出し入れ部、穴などにピンや針金などの金属物または異物、指を入れない
感電・けがの原因になります。
もし、異物が中に入ったときは、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店または東芝家電修理ご相談センターにご連絡ください。

⚠警告

コンセントを単独に使用

電源は、交流100Vで、定格15A以上のコンセントを単独で使用する
交流100V以外で使ったり、コンセントを他の器具と同時に使ったり、延長コードを使うと火災・感電の原因になります。

禁止

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない
火災・感電の原因になります。

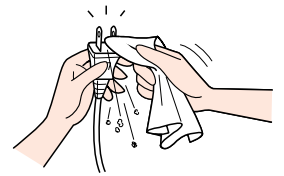
ご使用の前（つづき）

⚠警告

禁止

電源コードや電源プラグを、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重いものをのせたり、挟み込んだりしない
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

ほこりをとる

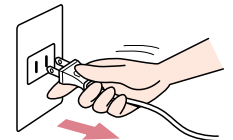
電源プラグの刃・刃の取り付け面に、付着したほこりはふき取る
ほこりが付着すると、火災の原因になります。

⚠注意

禁止

電源コードや電源プラグは、排気口や温度の高いところに近づけない
火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

電源プラグをコンセントから引き抜くときは、電源プラグを持って引き抜く
コードを持って引き抜くとコードが破損し、火災・感電の原因になります。

プラグを持って抜く

長期間、使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く
絶縁劣化により漏電火災の原因になります。

据え付けるとき

⚠警告

包装材を取り除く

使用前に、包装材はすべて取り除く
取り除かないと運転中に発火し、火災・やけどの原因になります。

包装用ポリ袋は、幼児の手の届かない所に保管または廃棄する
頭からかぶるなどすると、口や鼻をふさぎ窒息する原因になります。

禁止

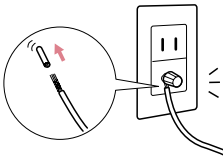
燃えやすいもの、熱に弱いものを本体に近づけない
焦げや、火災の原因になります。
たたみ・じゅうたん・テーブルクロスなどの上に置いたり、カーテンなどを近づけないでください。
また、熱に弱い家具や壁が周囲にある場合は、熱変形することがあるため、遠ざけてください。

安全上のご注意

据え付けるとき（つづき）

⚠警告

アースを接続する

アースを確実に取り付ける
故障や漏電のときに感電する原因になります。
アースの取り付けは販売店にご相談ください。

●アース端子を使う場合
- アース線が本体のアースねじにしっかり接続していることを確認してから、アース線先端の皮をむき、芯線部をアース端子につなぐ。
  電源プラグをコンセントから抜いた状態で接続してください。

●アース端子が無い場合
- アース工事（電気工事資格者によるＤ種接地工事）を行ってください。
  工事の依頼はお買い上げの販売店にご相談ください。

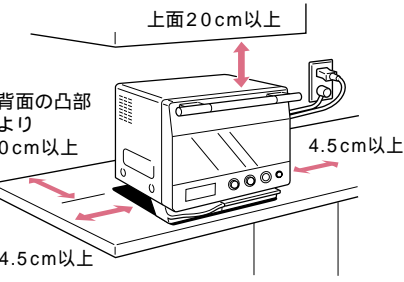
■アース工事（電気工事資格者によるＤ種接地工事）が必要な据え付け場所
- **湿気の多い場所**
  土間、コンクリート床、地下室、醸造・貯蔵所など
- **水気の多い場所（漏電遮断器も設置必要）**
  水滴の飛び散る所、水を使う土間、洗い場などの水気の多い所

■アース線を接続できないもの
- **ガス管、水道管、電話線のアース、避雷針**
  法令で禁止されています。

⚠注意

壁との間をあける

壁との間をあけて置く
過熱し火災の原因になります。
製品の後方上方には庫内からの排気口があります。調理物からの油や蒸気で壁や家具が汚れる場合があるため、汚れが気になるときは、排気が直接あたらないよう、下記の記載寸法以上に壁や家具から離してください。

〔消防法基準適合 組込形〕

場所	離隔距離(cm)
上方	20
左方	4.5
右方	4.5
前方	開放
後方	0
下方	0

禁止

水のかかるところや蒸気の出る機器および火気の近くでは使用しない
火災・感電・漏電の原因になります。

禁止

不安定な場所に置かない
落ちたり倒れたりして、けがの原因になります。
もし地震などで転倒・落下した場合は、そのまま使用せずお買い上げの販売店に点検を依頼してください。
本体の落下・転倒を防ぐための転倒防止金具（別売り：部品コード32582136）をお求めの方はお買い上げの販売店にご相談ください。

使用するとき

⚠警告

禁止

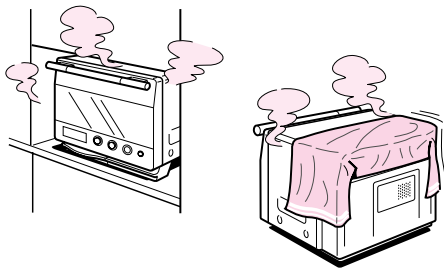
調理中に、電源プラグを抜き差ししない
抜き差しすると火花が発生し、火災・感電の原因になります。

禁止

子供だけで使わせたり、幼児の手が届くところで使わない
感電・けが・やけどの原因になります。

⚠注意

禁止

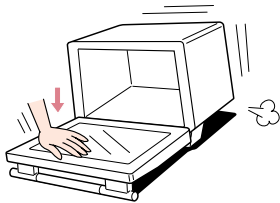
排気口や吸気口をふさがない
火災の原因になります。

禁止

衣類・ふきん類の乾燥、食品の収納など調理以外の目的には使用しない
過熱・異常動作して火災の原因になります。

禁止

とびらにものをはさんだまま使用しない
電波漏れによる、人体障害や発火の恐れがあります。

禁止

とびらや庫内に、無理な力や衝撃を加えない
変形し、電波もれによる人体障害の恐れがあります。また、とびらにぶらさがると本体が倒れて、けがをする原因になります。

禁止

本体の上に、ものを置いたり、布などをかぶせたりしない
置いたものが過熱し、変形・焦げ・発火の原因になります。

禁止

角皿、庫内底面やとびらのガラスにものをぶつけたり衝撃を加えない
破損して、けがの原因になります。
容器や茶わんの出し入れのときは、庫内底面やとびらのガラスにぶつけないようにしてください。
ガラスにキズがつくと、使用中割れることがあります。

禁止

庫内で食品が燃えたときは、とびらを開けない
とびらを開けると勢いよく燃え、火災の原因になります。

- 食品が燃えたときは次の手順で処置してください。
  ①とびらを閉めたまま「とりけし」キーを押し、運転を停止する。
  ②電源プラグをコンセントから抜く。
  ③本体から燃えやすいものを遠ざけ、鎮火するのを待つ。
  ④鎮火しないときは、水か消火器で消火する。
- そのまま使用せずに、販売店に点検を依頼してください。

安全上のご注意

レンジ加熱のとき

⚠注意

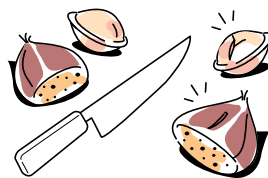
庫内がカラのまま、調理しない

- 本体や庫内が異常に加熱され、高温になり、やけどの原因になります。
- また長時間加熱や、少量の食品加熱後も庫内が熱くなり、やけどの原因になりますので終了直後は庫内にふれないでください。

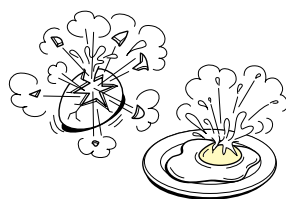
缶詰、ビン詰、袋詰、レトルト食品、真空パック入り食品は移し替える

また鮮度保持剤（脱酸素剤）は取り除いてから加熱します。
発火・破裂・けが・やけどの原因になります。

密封性の高い容器のふたやせんをはずし、皮や殻のある食品は、切れ目や割れ目を入れる

破裂して、けが・やけどの原因になります。

卵は、そのまま加熱しない

電子レンジで卵を加熱すると、内部も同時に急激に加熱され膨張します。殻や、卵黄膜によって密閉状態となっているため、一気に破裂してやけどをする原因になります。また取り出した後に、突然破裂することもあります。

- 卵はよく割りほぐしてから加熱してください。
- ゆで卵は作らないでください。
- ゆで卵のあたため直しもしないでください。

食品は加熱しすぎない

飲みもの（コーヒー、牛乳、水など）、生クリームなどの油脂分の多い液体は、取り出すときに突然沸騰し、やけどの原因になります。

- 飲みものは加熱する前にスプーンなどでよくかき混ぜてください。

食品の加熱しすぎは発煙・発火の原因となります。

- 手動で加熱する場合は57ページの設定時間の目安を参考に時間を設定し、様子を見ながら加熱してください。
- 自動で加熱する場合は、分量、容器、ラップのかけ方など取扱説明書の記載内容を守ってください。

容器が熱くなり、割れたり溶ける原因になります。

100g未満の食品は自動調理で加熱しない

食品の温度が正しく検知できず過加熱となり、食品が発火する原因になります。

- 手動で様子を見ながら、加熱してください。

ふたのある容器はあたためとゆで野菜とお好み温度の調理に使用しない

ふたがあると食品の温度が正しく検知されず過加熱となり、食品の発火や容器が割れる原因になります。

- 容器のふたをはずして加熱してください。

食器や食品を取り出すとき、ラップをはずすときなどは注意する

高温になっていたり、ラップをはずすときに蒸気が一気にでて、やけどの原因になります。

アルミホイル、金属容器、金串は使わない

火花が発生し、庫内底面やとびらのガラス割れなどでけがの原因になります。

ヒーター加熱・スチーム加熱のとき

⚠注意

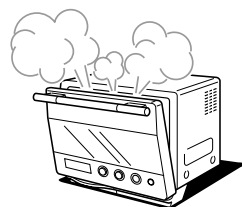
ヒーター加熱使用中や終了後は、高温部（庫内・とびら・本体）および取り出した角皿などには触れない

- 高温のため、やけどをする原因になります。
- 食品の出し入れや付属品の取り扱いには、市販の厚手のミトンを使います。

調理中や調理後はとびら・庫内・角皿などに水をかけたり、急に冷却しない

割れてけがをしたり、発生する蒸気やしぶきでやけどをする原因になります。

スチーム調理中や調理後、顔などをとびらに近づけない

やけどの原因になります。
スチーム調理中や調理後はスチームにご注意ください。とびらを開けるとき、高温のスチームが出ることがあるので、食品を取り出すときも十分ご注意ください。

破れたミトンや、水にぬれたミトンは使わない

熱く感じることがあります。とくに水や油でぬれたときや破れているときは、やけどの原因になります。

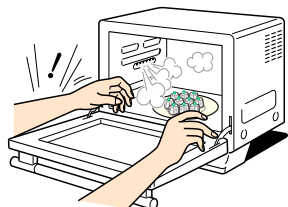
ヒーター加熱のときは、小鳥など煙や臭いに影響を受けやすい小動物は別の部屋に移す
換気のために窓を開ける

特に最初、オーブンでカラ焼きして庫内の油を焼き切るときは、煙が出たり、臭いがすることがあります。

給水カセットが破損した場合は使用しない

けがの原因になります。
ヒビやカケが生じた場合は使用せず、お買い上げの販売店にご相談ください。

スチーム調理中や終了後は、残ったスチームの発生に注意する

とびらを開けてすぐに庫内に手を入れるとやけどの原因になります。
調理中にとびらを開けたとき、しばらくスチームが出ている場合がありますので十分ご注意ください。

スチーム調理中、終了後は、庫内左側面のスチーム吹出口に触れない

やけどの原因になります。

給水カセットの水は使うたびに取り替える

かびや雑菌の繁殖の原因となります。
調理のときは必ず新しい水をお使いください。調理後はカセットの水を捨ててください。

安全上のご注意

お手入れ

⚠警告

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けが・やけどの原因になります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

⚠注意

本体の掃除は電源プラグを抜き、本体が冷めてから行う
感電ややけどをする恐れがあります。

水抜き中、とびらは閉めておく
水抜き中も、スチーム調理と同様に、スチームが発生します。
やけどの原因になりますのでとびらは閉めておきます。

食品や肉汁などで、汚れたままにしない
結露した水分はふきとる
さび・発煙・発火などの原因になります。
• 付着した場合は、本体が冷めてから必ずふきとってください。

お願い

• ヒーター加熱調理で、魚調理など油煙の出やすい調理を頻繁にされ、壁面が汚れる場合は本体上面を、開放できる所に置くことをお勧めします。

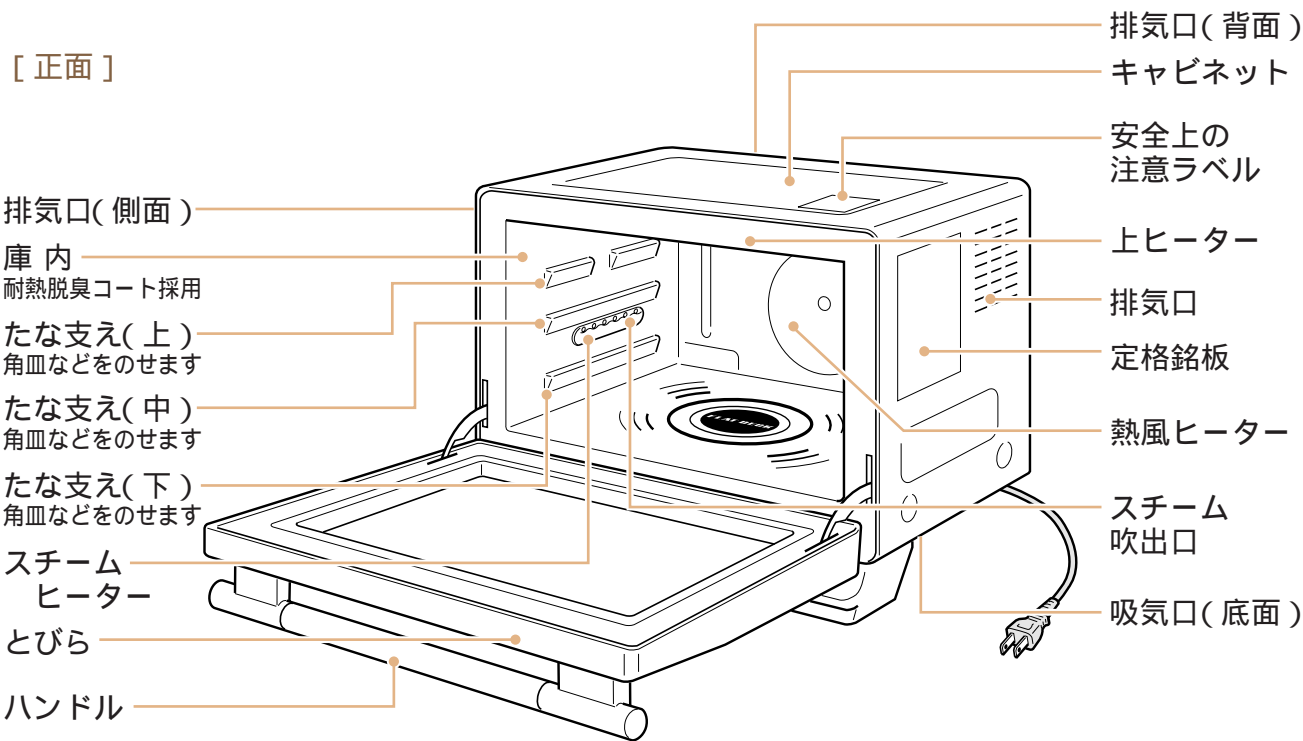
テレビ・ラジオから3m以上離す
雑音や、映像の乱れを防止するために受信感度の弱い場所はさらに雑音が小さくなるまで離してください。

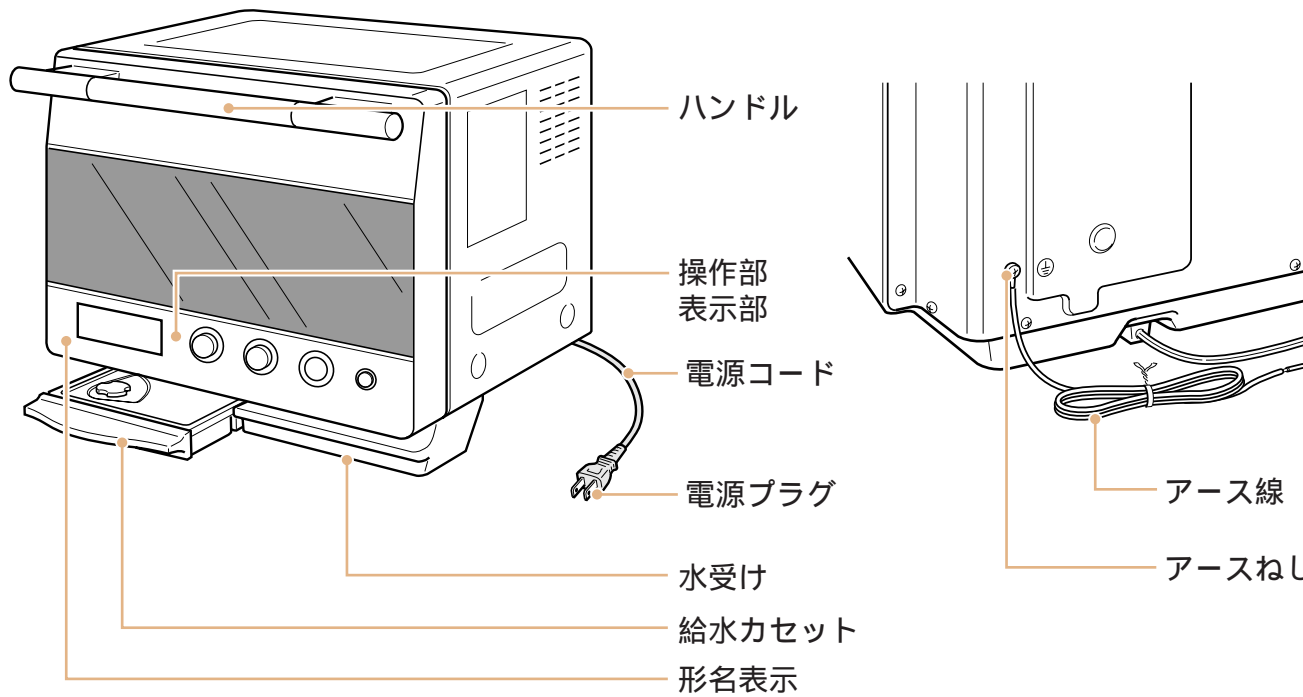
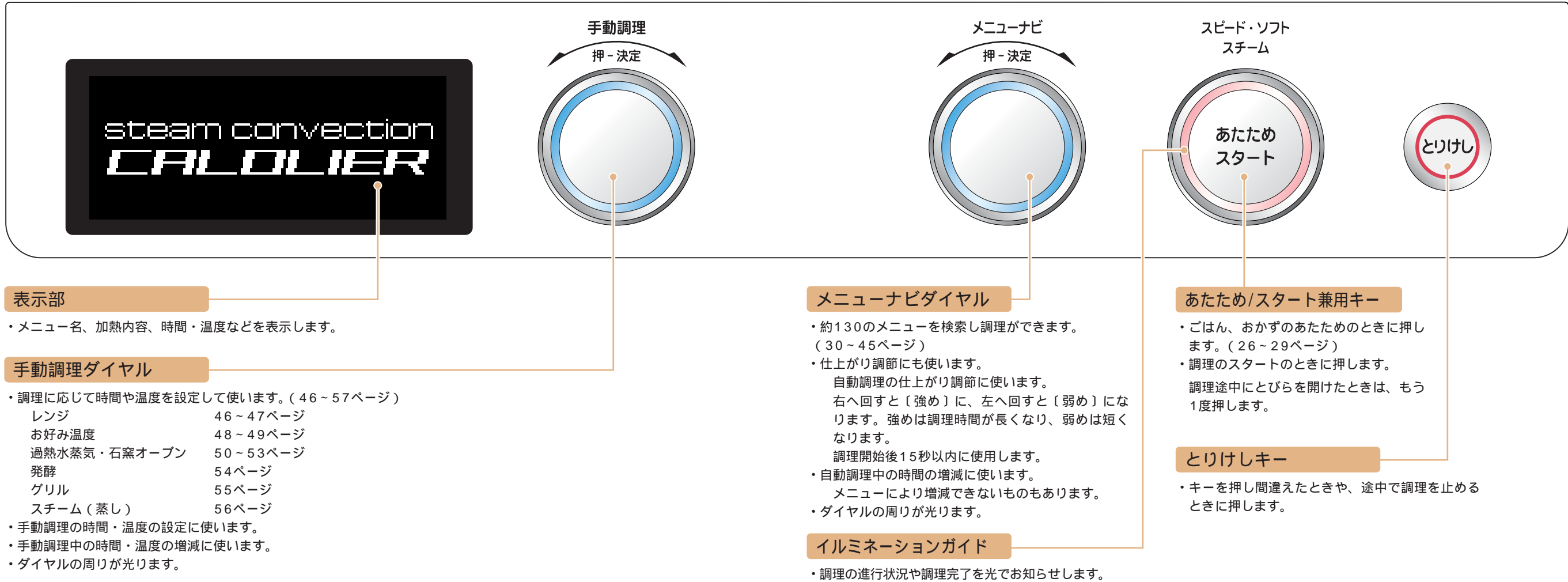
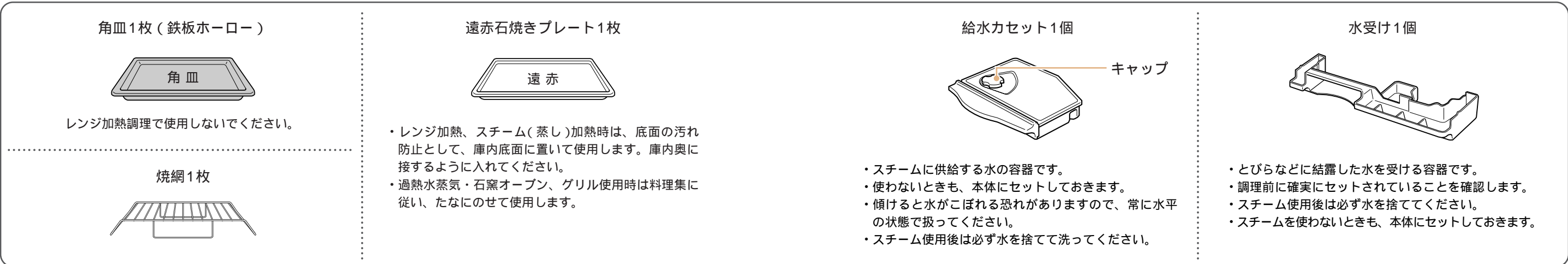
熱や、蒸気から離す
保温釜・ポットなどの蒸気が、本体や操作部にかからないようにしてください。

本体の移動の際は気をつけて

各部のなまえとはたらき

本 体

［正面］

※「上ヒーター」「熱風ヒーター」「スチームヒーター」は庫内の外側に位置していますので、見えません。

［正面］　［背面］

各部のなまえとはたらき（つづき）

メニューナビとは…
液晶の文字と光るダイヤル＆ボタンで操作手順をお知らせしたり、生活シーンに合わせてメニュー検索ができる機能です。

例えば ①料理集を見ていて、ローストチキンを調理したいとき
加熱方法から選ぶと、料理集の並びと同じなので便利です。
（料理集のページ番号も表示されます）
②ハンバーグを調理したいとき
カテゴリーの焼きもの（肉）から選ぶと便利です。
③毎日調理するような場合や、前回の仕上がり調節が上手くできたとき
最近の調理から選ぶと、仕上がり調節・焼きかたを記憶しているので便利です。

操作部

メニューナビ
押 - 決定

表示部

• メニュー名、加熱内容、時間・温度などを表示します。

手動調理ダイヤル

• 調理に応じて時間や温度を設定して使います。（46～57ページ）

レンジ	46～47ページ
お好み温度	48～49ページ
過熱水蒸気・石窯オーブン	50～53ページ
発酵	54ページ
グリル	55ページ
スチーム（蒸し）	56ページ

• 手動調理の時間・温度の設定に使います。
• 手動調理中の時間・温度の増減に使います。
• ダイヤルの周りが光ります。

メニューナビダイヤル

• 約130のメニューを検索し調理ができます。（30～45ページ）
• 仕上がり調節にも使います。
→自動調理の仕上がり調節に使います。
右へ回すと〔強め〕に、左へ回すと〔弱め〕になります。強めは調理時間が長くなり、弱めは短くなります。
→調理開始後15秒以内に使用します。
• 自動調理中の時間の増減に使います。
→メニューにより増減できないものもあります。
• ダイヤルの周りが光ります。

イルミネーションガイド

• 調理の進行状況や調理完了を光でお知らせします。

あたため/スタート兼用キー

• ごはん、おかずのあたためのときに押します。（26～29ページ）
• 調理のスタートのときに押します。
※調理途中にとびらを開けたときは、もう1度押します。

とりけしキー

• キーを押し間違えたときや、途中で調理を止めるときに押します。

付属品

付属品は正しくお使いください

角皿1枚（鉄板ホーロー）

レンジ加熱調理で使用しないでください。

焼網1枚

遠赤石焼きプレート1枚

• レンジ加熱、スチーム（蒸し）加熱時は、底面の汚れ防止として、庫内底面に置いて使用します。庫内奥に接するように入れてください。
• 過熱水蒸気・石窯オーブン、グリル使用時は料理集に従い、たなにのせて使用します。

給水カセット1個

• スチームに供給する水の容器です。
• 使わないときも、本体にセットしておきます。
• 傾けると水がこぼれる恐れがありますので、常に水平の状態で扱ってください。
• スチーム使用後は必ず水を捨てて洗ってください。

水受け1個

• とびらなどに結露した水を受ける容器です。
• 調理前に確実にセットされていることを確認します。
• スチーム使用後は必ず水を捨ててください。
• スチームを使わないときも、本体にセットしておきます。

操作の流れ

●つぎに操作してほしいダイヤルが　回してほしいとき　：点滅
押してほしいとき　：点灯
●最後はスタートキーが　：点滅

メニューナビ

◆ メニューナビは、加熱方法から選ぶ・最近の調理から選ぶ・調理のカテゴリーから選ぶの中から選択できます。
◆ 30～45ページのメニューナビの操作は加熱方法から選ぶを例として記載してあります。

メニュー名	操	料
牛乳	30	
お酒	30	
肉・半解凍	32	
肉・全解凍	32	
さしみ	32	
葉菜	34	
根菜	34	
ハンバーグ●	36	60
鶏の照焼き●	36	60
キャベツのミルフィーユ	40	61
ステーキ	38	61
塩鮭●	36	62
あじの干物●	36	62
鶏のから揚げ●	36	63
春巻き●	36	63
みそサンドとんかつ	40	64
梅じそチキンかつ	40	64
えびフライ	40	65
カラッとあたため	40	65
牛肉のパイ包み焼き	40	66
ローストビーフ	38	66
サルティンボッカ	40	67
ミートローフ	40	67
ローストチキン	40	68
タンドリーチキン	40	68
鶏のマスタード焼き	40	69
網焼きポーク	40	69
焼きソーセージとトマト	40	70
スペアリブ	40	70
豚の塩釜焼き	38	71
さんまの香味焼き	40	72
ぶりと野菜の焼き浸し	40	72
白身魚のハーブロースト	38	73
焼きいも	40	73
マリネ野菜のオーブン焼き	38	74
野菜の丸ごと焼き	40	74
グラタン（マカロニ）	40	75
グラタン用ホワイトソース	44	75
グラタン（なすとトマト）	40	76
ピザ	38	76
ピザ（クリスピー）	38	77
ピザ（カリカリおつまみ）	38	77
フランスパン	38	78

メニュー名	操	料
エビ	38	80
プチフランス	38	81
石窯パン	38	83
バターロール	38	84
あんパン	38	86
食パン	38	86
フォカッチャ	38	87
グリッシーニ	38	87
ナン	38	88
らくらくベーカリー	42	89
スポンジケーキ	40	90
シュークリーム（窯出し）	38	92
カスタードクリーム	44	93
シュークリーム	38	94
パウンドケーキ	38	95
ロールケーキ	38	95
シフォンケーキ	38	96
シフォンケーキ（スパイス）	38	97
ガトーショコラ	38	98
ブラウニー	38	99
フォンダンショコラ	38	99
スコーン	38	101
型抜きクッキー	38	102
ロッククッキー	38	103
焼きりんご	38	103
アップルパイ	38	104
焼きとり	40	105
さんまの塩焼き	40	105
ぶりの照焼き	40	105
棒々鶏	44	106
銀だらの蒸しもの	44	106
手作り肉まん	44	107
手作りシューマイ	44	108
手作り蒸し餃子	44	108
鯛とハマグリの薬膳蒸し	44	109
白身魚の香酢蒸し	44	109
白身魚のプロヴァンス風	44	110
白身魚のワイン蒸し	44	110
かぶら蒸し	44	111
サーモンテリーヌ	44	111
茶わん蒸し	44	112
赤飯	44	112
栗おこわ	44	113

メニュー名	操	料
中華風おこわ	44	113
いちご大福	44	114
栗蒸しようかん	44	114
浮島	44	115
蒸しケーキ	44	115
プリン	44	116
ふかしいも	44	116
カレー（チキン）	44	117
カレー（ポーク）	44	117
カレー（キーマ）	44	118
ビーフシチュー	44	118
肉じゃが	44	119
筑前煮	44	119
かれいの煮つけ	44	119
豚の角煮	44	120
五目豆	44	120
豆もやしの韓国風スープ	44	121
ミネストローネ	44	122
きのこのクラムチャウダー	44	122
酸辣湯（スーラータン）	44	123
白菜とチキンの豆乳スープ	44	123
野菜のミルクカレースープ	44	124
豆腐と春雨のコーンスープ	44	125
かぼちゃとパスタのスープ	44	125
水菜と厚揚げのスープ	44	126
高菜と枝豆の和風スープ	44	126
あさりの酒蒸し	44	127
小松菜のごま和え	44	127
リヨン風ポテト	44	127
手作り豆腐	44	128
豆腐花	44	128
鶏とブロッコリーの炒め物	44	130
えびときのこのチリソース	44	130
シーフードチャーハン	44	130
きんぴらごぼう	44	131
かぼちゃとひき肉の煮物	44	131
野菜のシャキシャキサラダ	44	132
きのこサラダ	44	132
カッテージチーズ	44	133
ジャム（いちご）	44	133
ジャム（りんご）	44	133

操作の流れ

●つぎに操作してほしいダイヤルが　回してほしいとき　：点滅
押してほしいとき　：点灯
●最後はスタートキーが　：点滅

手動調理

※：押して決定

待機画面

調理方法を
選んでください

回して選択	押して決定	回して選択	押して決定	回して設定		回して設定	押してスタート
レンジ（46～49ページ）	→	出力 1000W / 出力 600W / 出力 500W / 出力 200W	→	時間設定			→
		煮込み	→	時間設定	※ →	時間設定	→
		お好み温度	→	温度設定			→
		スチームレンジ	→	時間設定			→
過熱水蒸気 石窯オーブン（50～53ページ）	→	ハイブリッド石窯 予熱あり / ハイブリッド石窯 予熱なし / 過熱水蒸気 予熱あり / 過熱水蒸気 予熱なし / 石窯オーブン 予熱あり / 石窯オーブン 予熱なし	→	温度設定	※ →	時間設定	→
発酵（54ページ）	→		→	温度設定	※ →	時間設定	→
グリル（55ページ）	→		→	時間設定			→
スチーム（蒸し）（56ページ）	→	スチーム（蒸し）強 / スチーム（蒸し）弱	→	時間設定			→
お手入れ・設定（142～143ページ）（149～151ページ）	→	庫内お手入れ / パイプの水抜き / 庫内カラ焼き					→
		ブザー設定 / イルミネーションガイド設定 / メニューナビ優先順位設定 / コントラスト設定 / デモモード設定	→	設定画面	→ ※		

操作の流れ

表示説明

初期画面

電源が入ると表示されます。
とびらを閉めると
待機画面に切り替わります。

① ② ③

① デモ
デモモードが設定されています。
② すべてオフ
すべてのブザーがオフに設定されています。
取忘オフ
取り忘れブザーがオフに設定されています。
③ オフ
イルミネーションガイドがオフに設定されています。

待機画面

インフォメーション画面

しばらく操作をせずにいると
画面が変わります。

次の操作の情報を表示

付属品を表示します。
遠赤：遠赤石焼きプレート
角皿：鉄板ホーロー
焼網：焼網

棚位置を表示します。

上：上段
中：中段
下：下段

メニューナビで設定する場合（例：フランスパン）

設定中

選択方法選択時
画面：メニューナビ／加熱方法から選ぶ／最近の調理から選ぶ／調理のカテゴリーから選ぶ
メニューの選択方法

加熱方法選択時
選択方法
画面：加熱方法 ナビ／ゆで野菜／過熱水蒸気・石窯オーブン／グリル
メニューナビ使用中に表示
加熱方法

メニュー選択時
加熱方法
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン P.26／ピザ（カリカリおつまみ）／フランスパン／エビ
料理集記載ページ
メニュー名

焼きかたが選べるメニューのとき（例：ハンバーグ）
※メニュー選択後、
右のような画面が出ます。
画面：ハンバーグ／ハイブリッド石窯で調理／過熱水蒸気で調理／石窯オーブンで調理
メニュー名
選べる焼きかたを表示
メニューによって変わります。

調理中

・予熱中
メニュー名
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／フランスパン／予熱中のこり 59秒
加熱方法
残り1分になると時間を表示

・予熱終了
付属品
棚位置
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／フランスパン／角皿 予熱終了
予熱終了を表示

・調理中
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／フランスパン／30分30秒
残り時間

手動調理で過熱水蒸気（予熱あり）を設定する場合

設定中

加熱方法選択時
画面：手動調理／レンジ／過熱水蒸気・石窯オーブン／発酵

加熱内容選択時
加熱方法
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン 手動／ハイブリッド石窯 予熱なし／過熱水蒸気 予熱あり／過熱水蒸気 予熱なし

温度設定時
加熱内容
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／過熱水蒸気 予熱あり／180℃
設定温度

時間設定時
設定温度
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／過熱水蒸気 予熱あり／180℃ 20分00秒
設定時間

調理中

・予熱中
焼きかた
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／過熱水蒸気 予熱あり／予熱中のこり 59秒
加熱方法
残り1分になると時間を表示

・予熱終了
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／過熱水蒸気 予熱あり／予熱終了
予熱終了を表示

・調理中
設定温度
画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／過熱水蒸気 予熱あり／180℃ 19分59秒
残り時間

終了後

画面：過熱水蒸気・石窯オーブン／フランスパン／終了
→ 画面：庫内高温／調理方法を選んでください
注意項目が表示される場合があります。

食品を取り出さずにいると…

その他

お手入れ・設定の設定画面

お手入れ詳細説明

パイプの水抜き

スチーム調理終了後および
お手入れから選択したときに表示

注意表示

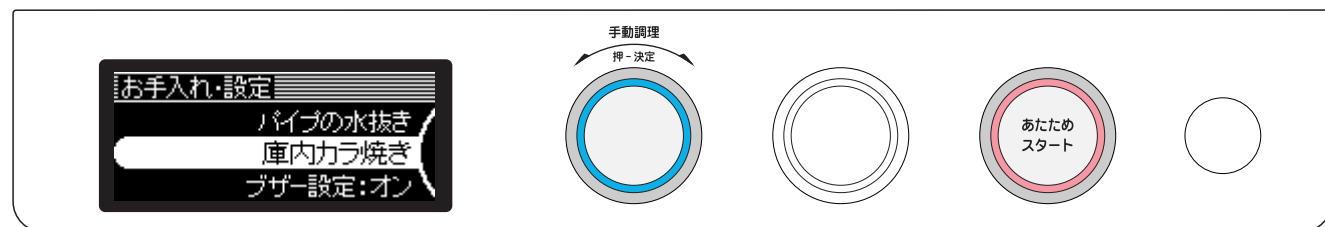
注意項目

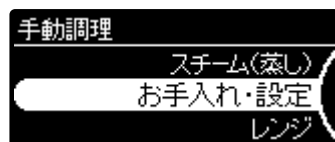
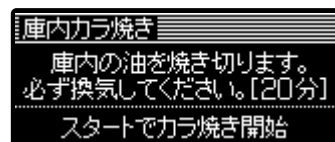
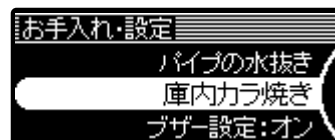
注意の詳細

デモモード中

デモモード中に表示されます。

庫内のカラ焼き

◆小鳥などの小動物は別の部屋に移し、換気のために窓を開けてください。
◆初めてお使いのときは、カラ焼きをして庫内の油を焼き切っておきます。
最初、煙が出たり、臭いがすることがありますが、故障ではありません。

1 庫内には何もセットしないで、とびらを閉める

2 回してお手入れ・設定を選択し、押して決定する

3 回して庫内カラ焼きを選択し、押して決定する

4 押す

▶ ブザーが3回鳴り、カラ焼き終了

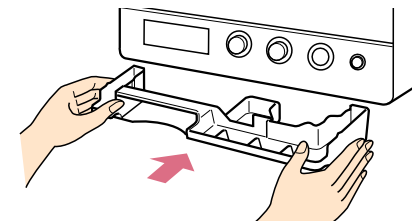
5 とびらを開ける

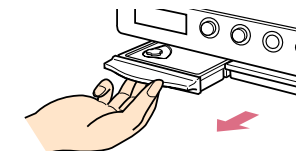
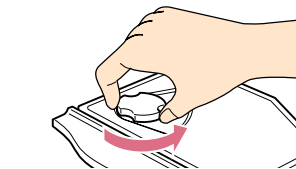
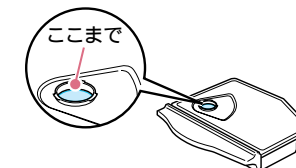
• 庫内が熱くなっているので、ご注意ください。表示部に「庫内高温」が出ます。

お知らせ
「とりけし」を押すか、とびらを開けないと、取り出し忘れお知らせ機能が働き、ブザーが鳴ります。（149ページ参照）

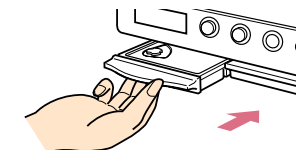
給水カセット・水受けの使いかた

水受けの取り付けかた・はずしかた

• 食品カスや水滴などを受けるものです。本体に合わせて矢印の方向に取り付けてください。
• 水受けをはずす場合は、手前に引いてください。
• 水がたまっている場合がありますので、気をつけてはずしてください。

給水カセットの取り出しと給水のしかた

1 給水カセットを本体からはずす
給水カセットのハンドルに手をかけ、そのまま引き出します。

2 給水カセットのキャップを開ける
キャップを左に回して開けます。

3 給水カセットに水を入れる
そそぎ口にかかるまで一杯に入れます。

給水カセットのセットのしかた

1 給水カセットのキャップを閉める
キャップは右に回して確実に閉めてください。

2 給水カセットを本体にセットする
奥に当たるまでしっかりと差し込んでください。
確実にセットしないと、水もれやスチーム不足の原因になります。

お願い
• 給水カセットと水受けはいつも清潔にしておいてください。
• 使用する水は、塩素消毒された水道水を使用してください。ミネラルウォーター、アルカリイオン水、井戸水などは使用しないでください。長時間使用した場合にスチーム吹出口が詰まることがあります。
• スチーム調理を行う場合は必ず給水カセットに満水まで水を入れ、水受けと共に確実に本体にセットしてください。水が少なかったり、半挿入でスチーム調理を行うとエラー表示「水補給」が出て、上手に調理できないことがあります。
• 給水カセットには水以外は入れないでください。故障の原因になります。
• スチーム調理終了後には、必ずパイプの水抜きを行ってください。（143ページ）
• 5℃以下の環境では使用しないでください。水が凍ってスチームが出なくなります。
• スチーム調理終了後には、必ず水受けの水を捨ててください。

赤外線センサーを使用するレンジ加熱について

■赤外線センサーとは

食品が放射する赤外線の量を測定して、食品の表面温度を検知するセンサーです。
食品の表面温度を検知しながら加熱するので、食品の初期温度や、容器の重さなどの影響を受けないで、
設定した温度に食品を加熱することができます。

赤外線センサーでの食品温度の検知を正しく行うために守っていただきたいこと

⚠注意

禁 止

100g未満の食品は自動調理で加熱しない

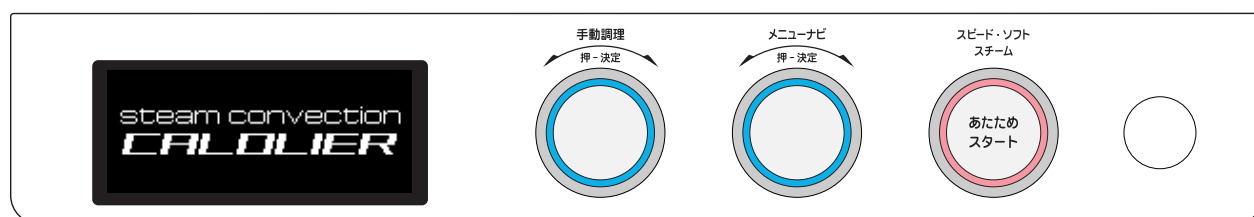
食品の温度が正しく検知できず過加熱となり、食品が発火する原因になります。
・手動で様子を見ながら、加熱してください。

禁 止

ふたのある容器はあたためとゆで野菜とお好み温度の調理に使用しない

ふたがあると食品の温度が正しく検知されず過加熱となり、食品の発火や容器が割れる原因になります。
・容器のふたをはずして加熱してください。

■メニュー例

あたため（スピード、ソフト、スチーム）、のみもの（牛乳、お酒）、
生解凍（肉・半解凍、肉・全解凍、さしみ）、ゆで野菜（葉菜、根菜）、お好み温度

上手にあたためるために

★設定の詳細は各キーの説明を参照してください。

お好みの仕上がりを選ぶことができます。

メニューナビダイヤルで強め弱めを加減します。右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。
強め弱めとも1、2、3の設定ができます。あたためのスピードとソフトのみ、〔強め4〕の設定ができます。

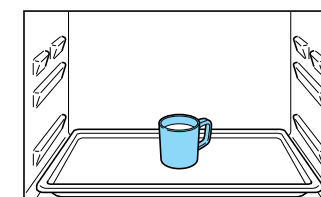
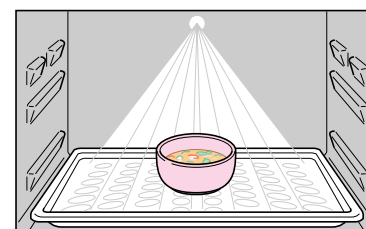
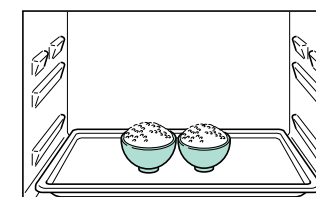
自動加熱全般のお願い

取扱説明書・料理集に記載している材料・分量・調理方法を守ってください。

・材料・分量・調理方法が違うと、仕上がりが悪くなる原因になります。
　また場合によっては食品が発煙・発火する原因になります。

指定分量以外の場合や市販の料理本の料理は、手動で様子を見ながら加熱してください。

食品の上手な置きかた

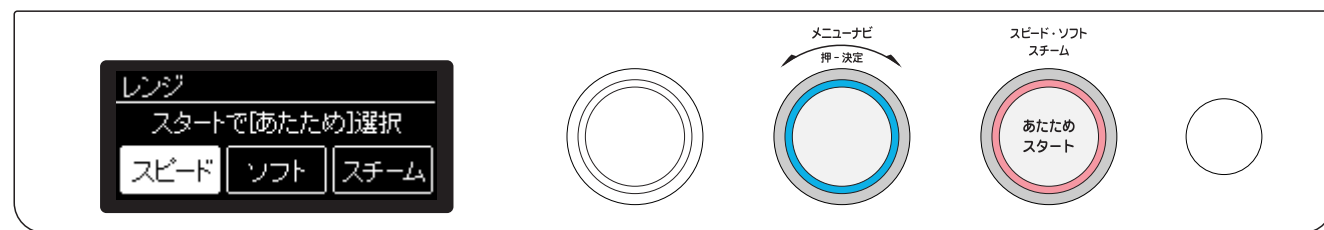
■赤外線センサーの検知イメージと置きかたの例

（あたためる食品が1つのとき）

（あたためる食品が複数のとき）

※操作手順や詳細は各操作ページを参照してください。
※表示温度は食品のおよその温度です。

- **●食品は庫内の中央に置く（複数の食品の場合は中央に寄せて置く）**
  - 端に置くと仕上がりが悪くなる場合があります。
    また小さいものを端に置くと、正しく検知できないことがあり、食品が発煙・発火する原因になります。
  - のみものは、沸騰したり庫内から取り出した後に突然沸騰して、やけどの原因になります。
- **●ラップを正しく使う**
  - 食品によってラップをする場合としない場合があります。各メニューの説明をお読みください。ラップをするときは、何重にも重ねないでください。ラップの重なり合う部分が下になるように置いて加熱してください。
  - 正しく使わないと、仕上がりが悪くなることがあります。また食品が焦げたり、発煙・発火の原因になります。
- **●続けて使用する時は、必ず庫内を十分に冷ましてから使用する**
- **●食品の分量に合った大きさの容器を使う**
- **●容器はできるだけ背が低くて口の広いものを使う**
- **●複数の食品をあたためる場合は、食品の分量や初期温度をそろえる**
- **●加熱中にとびらを開けた場合は、「とりけし」を押し、「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら加熱する**
- **●加熱終了後、さらに加熱をしたいときは、「レンジ」で様子を見ながら加熱する**

メニューナビ

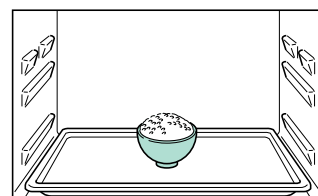
あたため（スピード・ソフト・スチーム）

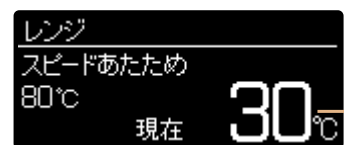
◆ あたためには「スピード」「ソフト」「スチーム」の3種類があります。
◆「あたため」で一度にあたためられる分量は100〜600gです。
冷凍したおかずは100〜300gです。（「スチーム」は100〜200gです）

例：ごはんをあたためる

1 食品を庫内に入れる

- 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、庫内中央におきます。
- スチームのときは給水カセットの準備をします。23ページ参照。

2 押す

レンジ
スタートで[あたため]選択
スピード ソフト スチーム

- 押すごとに スピード → ソフト → スチーム と変わります。（5秒以内）
- とびらを閉めて1分以内に押してください。

▶ 加熱開始

レンジ
スピードあたため
80℃
現在 30℃

食品のおよその温度を表示します。

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

スチームを使ったとき
- 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
- 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
- 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する
- 右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。弱めは1、2、3 強めは1、2、3、4の設定ができます。（強め4はスピードとソフトでとろみのあるおかずのときのみ使います）

→ お好み温度で温度を設定してあたためる（48〜49ページ参照）

■調理終了後さらに加熱したいとき

→「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら行う

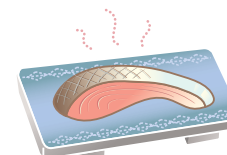
■スチームあたためのときに、調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅するので、給水カセットに水を追加する
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

あたための上手な使いかた

あたためにはスピードあたため・ソフトあたため・スチームあたための3種類があります。

おすすめするあたためのコースと調理品目

スピードあたため 連続1000Wで素早くあたためます。 主に、ごはんのあたためや、おかずを早くあたためたいときに使用します。	・ごはん ・冷凍ごはん ・短時間でおかずをあたためたい場合
ソフトあたため 赤外線センサーで検知した食品温度に応じて、インバータの加熱出力をコントロールし、おいしい仕上がりにあたためます。 主に、から揚げなどをやわらかく仕上げたり、焼魚がはじけるのを抑えたり、とろみのあるスープを上手にあたためることができます。 加熱出力をコントロールしているので、スピードあたために比べて時間が長くかかります。 	・はじけやすいおかず 例：焼魚、コロッケなど ・乾燥してかたくなりやすいおかず 例：から揚げ、焼肉など ・汁物 例：スープ、みそ汁など ・とろみのあるおかず 例：カレー、シチュー、八宝菜など ・冷凍食品（おかず）全般
スチームあたため スチームを出しながらあたためます。乾燥しやすい食品をしっとりふっくらあたためます。 出力を400Wにコントロールしているのでスピードあたために比べて時間が長くかかります。	・しっとりあたためたい場合

次のものは あたため スタート では、加熱できません

●牛乳やお酒などののみもの
→「のみもの」で種類を選んであたためる（30〜31ページ参照）

●魚や肉の解凍
→「生解凍」でコースを選んで解凍する（32〜33ページ参照）

●パン
→「レンジ」で出力と時間を設定して加熱する（46〜47、57ページ参照）

あたためのお願い

あたため全般

●食品は庫内中央に置いてください。庫内端に置くと加熱がうまくできません。また、小さなものを端に置くと赤外線センサーで正しく検知できず、食品が発煙・発火する原因になります。

●庫内の食品カスや、水滴などをふきとってから、食品を入れてください。

●あたためる食品の分量が100g未満の場合は「レンジ」で出力と時間を設定して、様子を見ながら加熱してください。

●鉄板ホーローの角皿を使用すると火花が飛び、故障の原因になります。

あたため（スチーム）

●清潔に保つため、給水カセットの水は、調理前に満水位置まで新しい水を入れ、調理が終了したら余分な水は捨ててください。

●とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。

●調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

●あたためる食品の分量が100g未満の場合は「スチームレンジ」で時間を設定して、様子を見ながら加熱してください。

●遠赤石焼きプレートを庫内底面に置いておく（庫内底面の汚れ防止）

●あたためるときはふたは使わない

- 陶器製、ガラス製、プラスチック製などのふたをすると赤外線センサーで正しく食品の温度を検知できず、上手に加熱できません。
- 市販のお弁当もふたを取り、アルミホイルなどをはずして加熱してください。

●庫内を十分冷ましてから加熱する

- 庫内が熱いと赤外線センサーがうまく働きません。
  また熱に弱い容器（プラスチック製など）が溶けたり変形したりすることがあります。
  表示部に「庫内高温」が表示されたときは表示が消えるまでお待ちください。

●複数の食品をあたためるときは

- 食品の分量が極端に異なったり、あたためる前の食品の温度差があると均等にあたたまりません。

スピードまたはソフトで上手にあたためるために

●室温や冷蔵の食品はラップをしないで加熱する

- ごはん…かたまりはほぐし、冷蔵のごはんなど固めのものは水を振りかけて加熱します。
- 煮もの…煮汁を切って加熱します。
- 蒸しもの…パサついているときは霧を吹いて加熱します。
- 汁もの…仕上がり調節を〔強め〕に設定して加熱します。
- 焼魚…仕上がり調節を〔弱め〕に設定して加熱します。

●冷凍した食品はラップをして、器にのせて加熱する

※ラップは食品にぴったりつけないと、上手に加熱できません。

- 冷凍ごはん…ラップに包んだ冷凍ごはんはラップの重なっている方を下にして皿にのせて加熱します。
- 市販の調理済み冷凍食品…パッケージの記載内容を参考にして「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら加熱します。
- 冷凍ゆで野菜…「レンジ」で出力と時間を設定して様子を見ながら加熱します。
  （46～47・57ページ参照）
  コーンやミックスベジタブルなどは容器に移しかえて加熱します。
  （少量での解凍加熱はしないでください。）
- 冷凍シューマイ…仕上がり調節を〔強め〕に設定して加熱します。

●カレーや八宝菜のようなとろみのあるおかずはラップをして加熱する

※ラップは食品にぴったりつけないと、上手に加熱できません。

- 深めの器に入れ、ラップして加熱後、混ぜ合わせます。
  加熱するときは仕上がり調節を〔強め4〕にして加熱してください。

スチームで上手にあたためるために

●ラップやふたをしないで加熱する

- ラップなしであたためます。スチームにより食品の乾燥を防ぎ、しっとりふっくらあたためます。
- ごはんは仕上がり調節を〔標準〕に、蒸しものやおかずは仕上がり調節を〔強め〕に設定して加熱すると、上手に加熱できます。

●連続使用する場合は、ふきんなどで庫内やとびらの水滴を十分にふき取る

- 庫内やとびらに水滴が多くついていると、赤外線センサーがうまく働きません。

●カレーや八宝菜のようなとろみのある食品は加熱しない

- 「スピードまたはソフト」〔強め4〕で加熱してください。

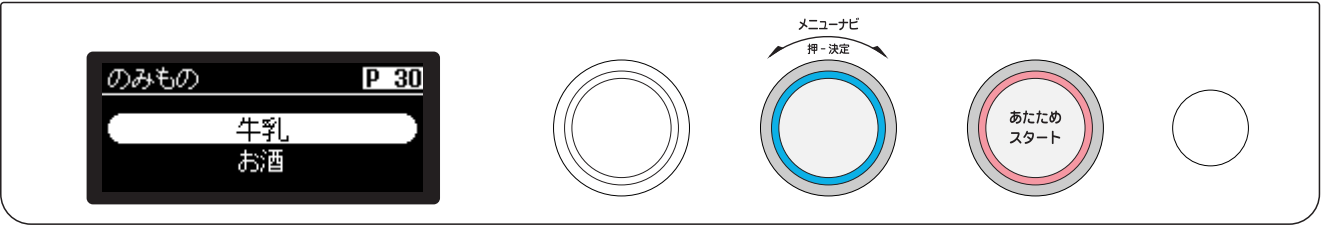
●「スピード、ソフト」より時間がかかります

- 出力を400Wにコントロールしているため、時間が長くかかります。
  （スピードあたためにに比べて、約2倍の時間がかかります。）

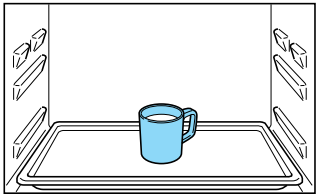
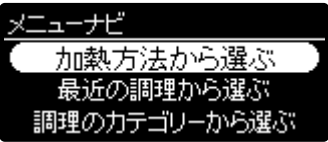
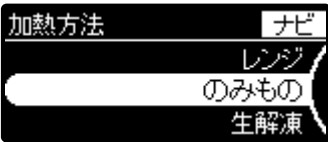
※大きさによっては中華・肉・あんまんは上手にあたたまらないことがあります。

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

のみもの

◆「のみもの」で一度にあたためられる分量は1～4杯（本）です。

例：牛乳をあたためる

1 **食品を庫内に入れる**

・庫内中央に置きます。

2 **回して加熱方法から選ぶを選択し、押して決定する**

3 **回してのみものを選択し、押して決定する**

4 **回して牛乳を選択する**

5 **押す**

▶ 加熱開始

食品のおよその温度を表示します。

▶ **ブザーが3回鳴り、調理終了**

・取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
・メニューによっては、容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

遠赤石焼きプレートは庫内底面に置いておきます。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する

右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。
強め弱めとも1、2、3の設定ができます。現在の設定が次回から自動設定されます。

■さらに加熱したいとき

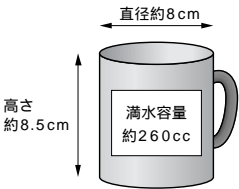
→「レンジ」で出力と時間を設定して、様子を見ながら行う

のみもの

● **食品は庫内中央に置いてください。**
● **庫内端に置くと赤外線センサーが正しく検知できず、沸騰する恐れがあります。**

牛乳

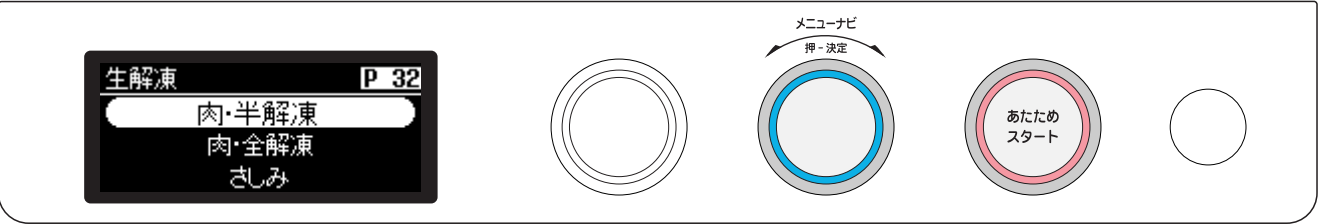
・容器…背が低く広口のマグカップ。右図のものを目安にしてください。
（容器の大きさ・形状・材質で仕上がりが変わります）
・1杯の分量…容器の8分目（約200cc）。（少量しか入れないと沸騰する恐れがあります）
・おいしく飲むために…加熱後すぐかき混ぜる。（放置すると膜ができることがあります）

直径約8cm
高さ約8.5cm
満水容量約260cc

お酒

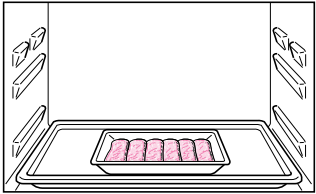
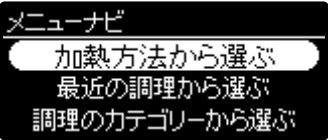
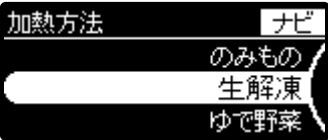
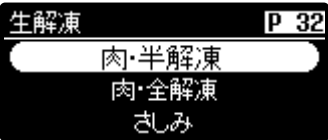
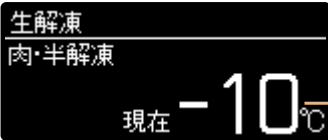
・容器…背が低くずんぐりとしたとっくり。（容器の大きさ・形状・材質で仕上がりが変わります）
・1本の分量…とっくりの8分目。（少量しか入れないと沸騰する恐れがあります）
・おいしく飲むために…加熱ムラを少なくするためにとっくりの首の細い部分をアルミホイルでおおう。

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

生解凍

◆「生解凍」で一度に解凍できる分量は100～1000gです。

例：冷凍の肉を解凍する

1 食品を庫内に入れる

- 発泡トレイのまま解凍できます。
- ラップははずします。
- 庫内中央に置きます。

2 回して**加熱方法から選ぶ**を選択し、押して決定する

3 回して**生解凍**を選択し、押して決定する

4 回して**肉・半解凍**を選択する

5 押す

生解凍
肉･半解凍
現在 -10℃

食品のおよその温度を表示します。

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）

遠赤石焼きプレートは庫内底面に置いておきます。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する
- 右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め弱めとも1、2、3があります。

■解凍不足のときは

→「レンジ」で200Wを選び、時間を設定して様子を見ながら解凍する

生解凍

- ●解凍する食品は庫内中央に置いてください。庫内端に置くと、解凍がうまくできません。
- ●解凍する食品の分量が100g未満の場合は「レンジ」で200Wを選び、時間を設定して様子を見ながら解凍してください。

肉・半解凍
- 肉が好みの厚さに切れる、ほどよく凍った状態まで解凍

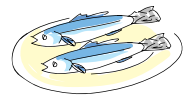
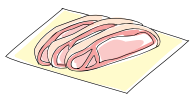
肉・全解凍
- 自然解凍のようにきちんとはがせたり、ほぐせるまで解凍

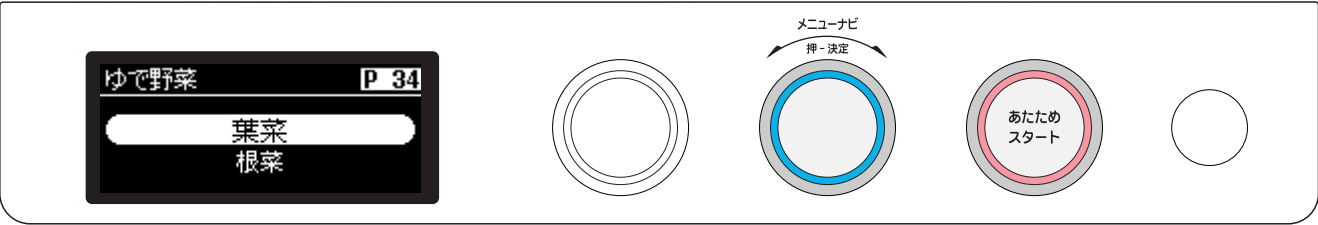
さしみ
- まぐろなどさしみ用…サクッと包丁が入って、盛り付けたときが食べごろに解凍

上手に解凍するために

●ラップやふたをしないで、発泡トレイのまま解凍する
- ただし深めの発泡トレイは赤外線センサーがうまく働かないことがあるので浅めのトレイに移すか、平らな皿に、ペーパータオルを敷き、その上に置いて解凍してください。

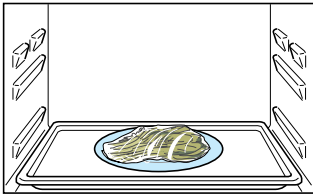
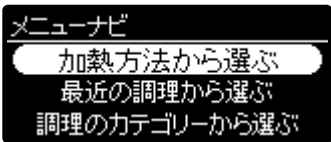
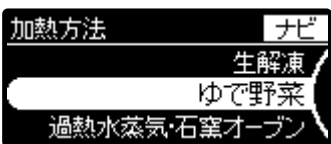
●冷凍庫から出してコチコチの状態ですぐに解凍する

●アルミホイルで、変色や煮えを防ぐ
- 魚などの身の細い部分に巻いて、加熱しすぎを防ぎます。
  分量の多いときや形が均一でないときにも周囲に巻くことをおすすめします。

●解凍する食品の大きさをそろえる
- 上手に解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にして、周囲に薄いところがないように準備します。同時に2つ以上解凍するときは同じ種類、同じ大きさのものをそろえます。厚みのあるかたまり肉は、「仕上がり調節」〔強め〕に設定します。

●庫内を十分冷ましてから解凍する
- 庫内が熱いと赤外線センサーがうまく働きません。表示部に「庫内高温」が表示されたときは、とびらを開けて庫内温度が下がるまでお待ちください。

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

ゆで野菜

例：ほうれん草をゆでる

1　食品を庫内に入れる

・庫内中央に置きます。

2　回して加熱方法から選ぶを選択し、押して決定する

3　回してゆで野菜を選択し、押して決定する

4　回して葉菜を選択する

5　押す

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
・取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
・容器が熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

ゆで野菜
葉菜
2分25秒

残り時間を表示します。
残り時間は食品の種類・量によって変わります。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する

・右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め弱めとも1、2、3があります。

遠赤石焼きプレートは庫内底面に置いておきます。

ゆで野菜

●食品の分量が100g未満の場合は「レンジ」で600Wを選び、時間を設定して様子を見ながら加熱してください。（46〜47・57ページ参照）

葉菜（ほうれん草/ブロッコリー/キャベツなど）

・分量…100〜300g（食品の重さのみ）
・ゆでかた…水洗いしてラップできっちり包み、ラップの重なり合う部分を下にして平皿にのせて加熱します。
・葉と茎を交互に重ね、太い茎には十文字に包丁を入れて、ラップで包みます。
・できるだけ幅広く包み、平皿からはみ出さないようにします。
・量が多いときは半分に分けてラップで包みます。

根菜（じゃがいも/さといも/かぼちゃなど）

・分量…100〜600g（食品の重さのみ）
・ゆでかた…水洗いして平皿にのせ、平皿ごときっちりラップをして加熱します。

丸ごとゆでるとき

平皿ごとラップをして加熱し、加熱後は庫内から取り出し、しばらく置いて繰り越し加熱（約5分）を利用します。
・2個以上のときは仕上がりを同じにするため、大きさをそろえます。
・丸くて高さのある大きなじゃがいもは、仕上がり調節〔強め〕を使います。

切ってゆでるとき

皮をむいて大きさをそろえて切り、水をふって平皿にのせ、平皿ごときっちりラップをして加熱します。

●大きさの違う野菜や、水分を多く加える必要がある野菜をゆでるときは

多めに水をふって耐熱容器に入れ、ラップして「レンジ」で600Wを選び、時間を設定して加熱します。（46〜47・57ページ参照）
・小さく切ったにんじんを「ゆで野菜：根菜」で加熱すると、火花がでて焦げたり、乾燥することがあります。

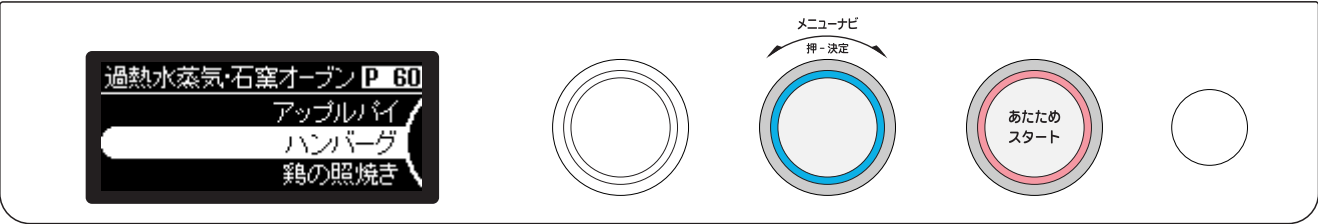
お願い
・葉菜/根菜とも、必ず平皿にのせて加熱してください。
・葉菜は、食品のみラップをして、平皿ごとラップはしないでください。
・根菜は、平皿ごとラップをしてください。
・ラップを何重にも重ねたり、巻いたりしないでください。
・ラップ以外のものをかぶせないでください。
※正しい使いかたをしないと、食品が発煙・発火する原因になります。また火花がでて、庫内底面が割れたり、故障の原因になります。

●加熱終了後は繰り越し加熱（食品内にこもった熱でさらに加熱が進むこと）を利用しましょう

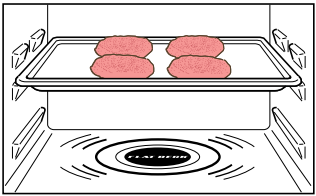
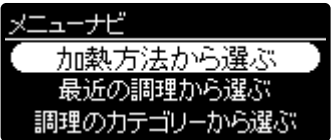
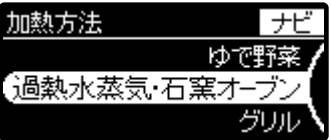
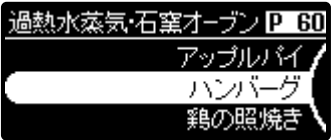
繰り越し加熱の間は食品が乾きやすいのでラップははずしません。

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

過熱水蒸気・石窯オーブン

◆ 焼きかたを選べるメニューについて説明しています。

例：ハンバーグをハイブリッド石窯で焼く

1 給水カセットの準備をし、食品を庫内に入れる

• 給水カセットの準備は23ページ参照。

2 回して加熱方法から選ぶを選択し、押して決定する

3 回して過熱水蒸気・石窯オーブンを選択し、押して決定する

4 回してハンバーグを選択し、押して決定する

• しばらくすると使用する付属品と棚の位置を表示します。

お願い

遠赤石焼きプレートなどは熱くなっています。

• 取り出した遠赤石焼きプレートなどは熱に弱い場所には、置かないでください。
• 子供や幼児の手が触れないように気をつけてください。
• 市販の厚手のミトンを両手に使用して、素手で直接遠赤石焼きプレートなどには触れないでください。
• 破れたミトンや、水にぬれたミトンは使わないでください。
• とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
• 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

お知らせ

• 料理集に記載してある料理（分量）以外は、メニューナビで上手に仕上がらないことがあります。手動調理で様子を見ながら加熱をしてください。
また、室温・初期温度・電源電圧などによって、仕上がり状態が変わることがあります。

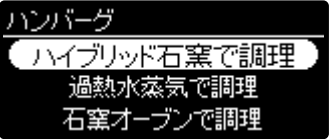
焼きかたを選べるメニュー

ハンバーグ	鶏のから揚げ	あじの干物
鶏の照焼き	塩鮭	春巻き

ハイブリッド石窯とは…
最初は過熱水蒸気、途中から高火力のヒーターで焼き上げます。

過熱水蒸気とは…
最初から最後まで過熱水蒸気で焼き上げます。

石窯オーブンとは…
熱風で食品を包み込むように加熱します。

5 回してハイブリッド石窯で調理を選択する

6 押す

残り時間が表示されます。

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了

• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
• 遠赤石焼きプレートなどが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
またスチーム吹出口に注意してください。
• 表示部に「庫内高温」が出ます。

スチームを使ったとき

• 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
• 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
• 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する

• 右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め、弱めとも1、2、3があります。

■調理終了後さらに加熱したいとき

→ 手動調理で様子を見ながら行う

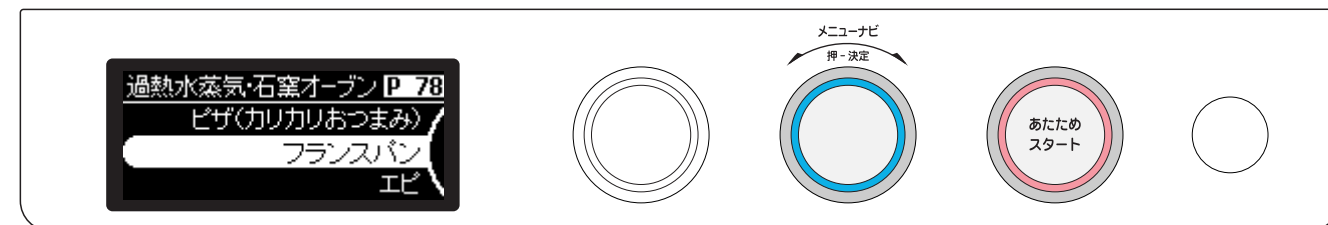
■調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅するので、給水カセットに水を追加する

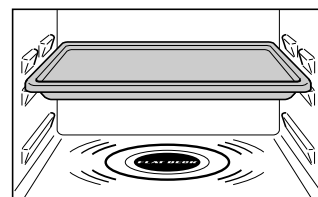
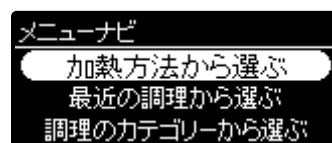
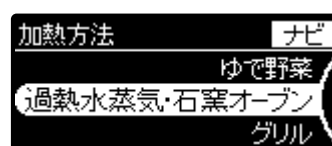
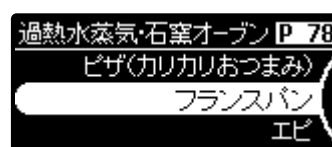
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

過熱水蒸気・石窯オーブン

◆ 予熱を必要とする調理について説明しています。

例：フランスパンを焼く

1 給水カセットの準備をし、角皿を庫内に入れる

- 4～5ページで 💧 がついているメニューは、必ず給水カセットの準備をしてください。
- 角皿、遠赤石焼きプレートの予熱は、指定されたメニューのみで行います。
- 給水カセットの準備は23ページ参照。

2 回して**加熱方法から選ぶ**を選択し、押して決定する

3 回して**過熱水蒸気・石窯オーブン**を選択し、押して決定する

4 回して**フランスパン**を選択する

お願い

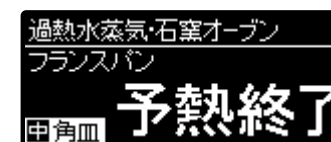
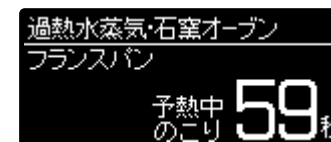
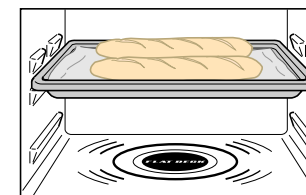
角皿などは熱くなっています。
- 取り出した角皿などは熱に弱い場所には、置かないでください。
- 子供や幼児の手が触れないように気をつけてください。
- 市販の厚手のミトンを両手に使用して、素手で直接角皿などには触れないでください。
- 破れたミトンや、水にぬれたミトンは使わないでください。
- とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
- 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

予熱について
- 予熱の方法がメニューによって異なります。料理集を参照してください。
- 角皿などの予熱は指定されたメニューのみで行います。指示のないメニューでは角皿などの予熱はしないでください。

お知らせ
- 料理集に記載してある料理（分量）以外は、メニューナビで上手に仕上がらないことがあります。手動調理で様子を見ながら加熱をしてください。
また、室温・初期温度・電源電圧などによって、仕上がり状態が変わることがあります。

5 押して予熱開始

▶ 予熱終了1分前に残り時間を表示

▶ ブザーが5回鳴り、「予熱終了」を表示
- 20分間予熱保持
- 使用する付属品と棚位置を表示します。

6 食品を庫内に入れる

7 押す

▶ 加熱開始

残り時間が表示されます。

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 角皿などが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。またスチーム吹出口に注意してください。
- 表示部に「庫内高温」が出ます。

スチームを使ったとき
- 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
- 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
- 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

■お好みの仕上がりを選ぶには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する
- 右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め、弱めとも1、2、3があります。

■調理終了後さらに加熱したいとき

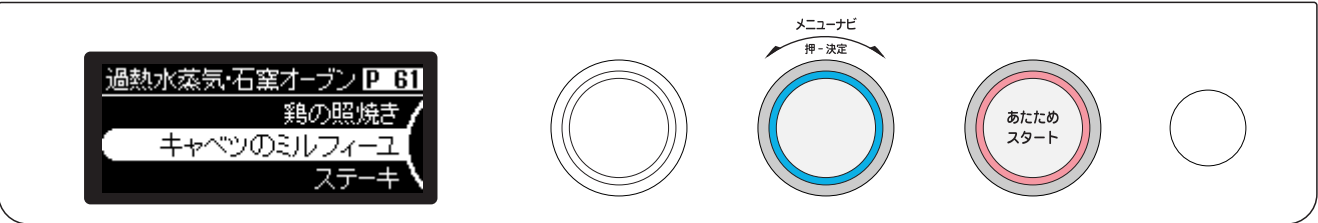
→ 手動調理で様子を見ながら行う

■調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅するので、給水カセットに水を追加する
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

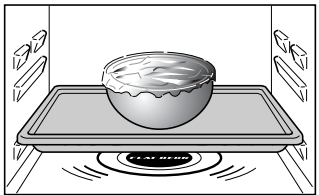
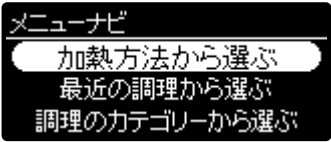
過熱水蒸気・石窯オーブン グリル

◆ 予熱を必要としない調理について説明しています。

例：キャベツのミルフィーユを作る

1 給水カセットの準備をし、食品を庫内に入れる

- 4～5ページで 💧 がついているメニューは、必ず給水カセットの準備をしてください。
- 給水カセットの準備は23ページ参照。

2 回して**加熱方法から選ぶ**を選択し、押して決定する

メニューナビ
加熱方法から選ぶ
最近の調理から選ぶ
調理のカテゴリーから選ぶ

3 回して**過熱水蒸気・石窯オーブン**を選択し、押して決定する

お願い

角皿などは熱くなっています。
- 取り出した角皿などは熱に弱い場所には、置かないでください。
- 子供や幼児の手が触れないように気をつけてください。
- 市販の厚手のミトンを両手に使用して、素手で直接角皿などには触れないでください。
- 破れたミトンや、水にぬれたミトンは使わないでください。
- とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
- 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

お知らせ
- 料理集に記載してある料理（分量）以外は、メニューナビで上手に仕上がらないことがあります。手動調理で様子を見ながら加熱をしてください。
また、室温・初期温度・電源電圧などによって、仕上がり状態が変わることがあります。

4 回して**キャベツのミルフィーユ**を選択する

過熱水蒸気·石窯オーブン P 61
鶏の照焼き
キャベツのミルフィーユ
ステーキ

- しばらくすると使用する付属品と棚の位置を表示します。

5 押す

残り時間が表示されます。

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 角皿などが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。またスチーム吹出口に注意してください。
- 表示部に「庫内高温」が出ます。

スチームを使ったとき
- 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
- 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
- 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

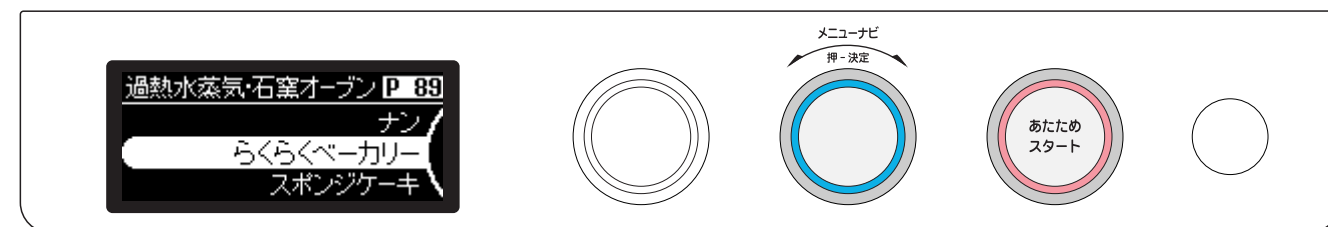
■お好みの仕上がりを選ぶには
→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する
- 右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め、弱めとも1、2、3があります。

■調理終了後さらに加熱したいとき
→ 手動調理で様子を見ながら行う

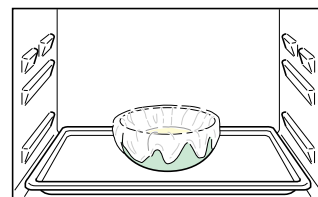
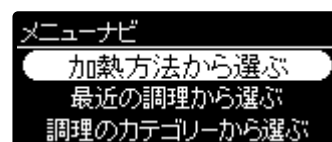
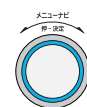
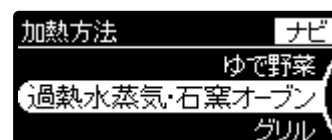
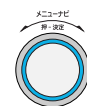
■調理途中で給水カセットの水がなくなると
→ ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅するので、給水カセットに水を追加する
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

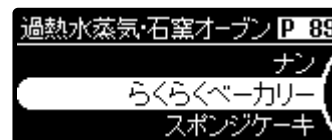
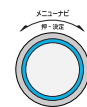
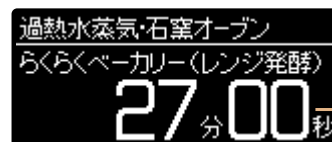
過熱水蒸気・石窯オーブン

◆ レンジで発酵させ、オーブンで焼き上げる、らくらくベーカリーについて説明しています。
◆ 調理詳細は89ページを参照してください。

例：らくらくベーカリーでパンを作る

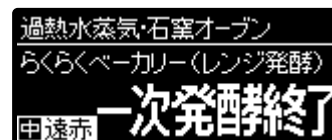
1 材料を入れる

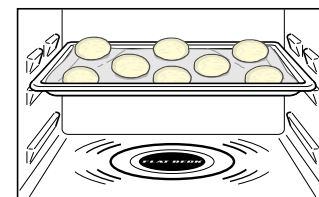
・庫内中央に置きます。

2 回して加熱方法から選ぶを選択し、押して決定する

3 回して過熱水蒸気・石窯オーブンを選択し、押して決定する

4 回してらくらくベーカリーを選択する

一次発酵

5 押す

▶ 一次発酵開始

▶ ブザーが5回鳴り、一次発酵終了

残り時間が表示されます。
（発酵から焼き上げまでの
トータル時間が表示されます。）

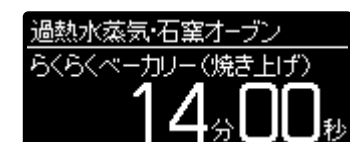
過熱水蒸気･石窯オーブン
らくらくベーカリー（レンジ発酵）
中途示 一次発酵終了

成形発酵・焼き上げ

6 成形後の生地を庫内に入れる

7 押す

▶ 成形発酵開始

▶ 成形発酵終了後、続けて焼き上げ開始
・表示は右図下側のようになります。

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
・取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
・遠赤石焼きプレートなどが熱くなっているので
気をつけて取り出してください。
・表示部に「庫内高温」が出ます。

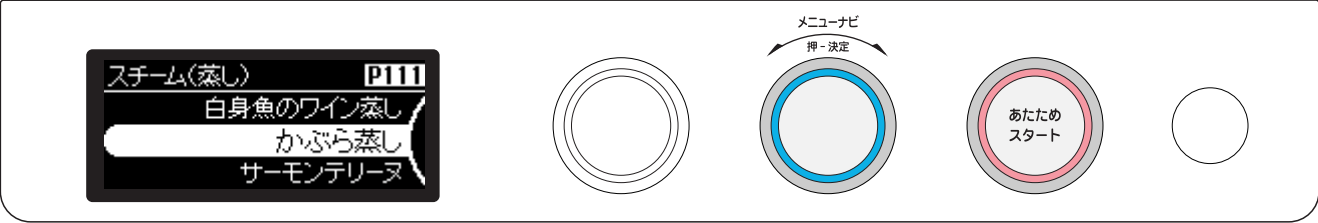
残り時間が表示されます。

■お好みの焼き上がりにするには

→ スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する
・右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め、弱めとも1、2、3があります。
・強め3、弱め3のみ発酵時間も加減します。

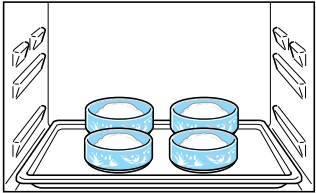
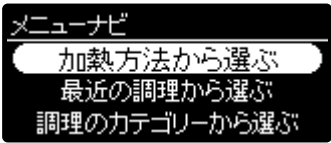
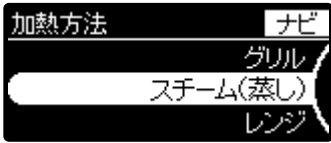
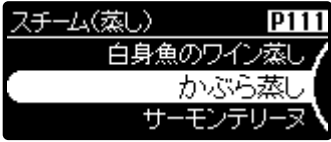
お願い
・一次発酵・成形発酵時には、角皿を使用しないでください。

お知らせ
・料理集に記載してある料理（分量）以外は、メニューナビで上手に仕上がらないことがあります。手動調理で様子を見ながら加熱をしてください。また、室温・初期温度・電源電圧などによって、仕上がり状態が変わることがあります。

メニューナビ（加熱方法から選ぶ）

スチーム（蒸し）レンジ

例：かぶら蒸しを作る

1 給水カセットの準備をし、食品を庫内に入れる

- 4～5ページで💧がついているメニューは、必ず給水カセットの準備をしてください。
- 給水カセットの準備は23ページ参照。

2 回して**加熱方法から選ぶ**を選択し、押して決定する

3 回して**スチーム（蒸し）**を選択し、押して決定する

4 回して**かぶら蒸し**を選択する

お願い
- とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
- 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

遠赤石焼きプレートは庫内底面に置いておきます。

途中操作のあるメニュー

※下記メニューは途中でブザーが鳴り加熱が一度止まります。料理集に従って調理手順を進め、スタートを押して加熱します。

いちご大福	きのこのクラムチャウダー	豆腐と春雨のコーンスープ
栗蒸しようかん	酸辣湯（スーラータン）	かぼちゃとパスタのスープ
豆もやしの韓国風スープ	白菜とチキンの豆乳スープ	水菜と厚揚げのスープ
ミネストローネ	野菜のミルクカレースープ	高菜と枝豆の和風スープ

5 押す

残り時間が表示されます。

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 容器などが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。またスチーム吹出口に注意してください。
- メニューによっては、表示部に「庫内高温」が出ます。

スチームを使ったとき
- 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
- 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
- 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

■**お好みの仕上がりを選ぶには**

→ **スタート後15秒以内にメニューナビダイヤルを回して強め弱めを加減する**
- 右へ回すと〔強め〕、左へ回すと〔弱め〕になります。強め、弱めとも1、2、3があります。

■**調理終了後さらに加熱したいとき**

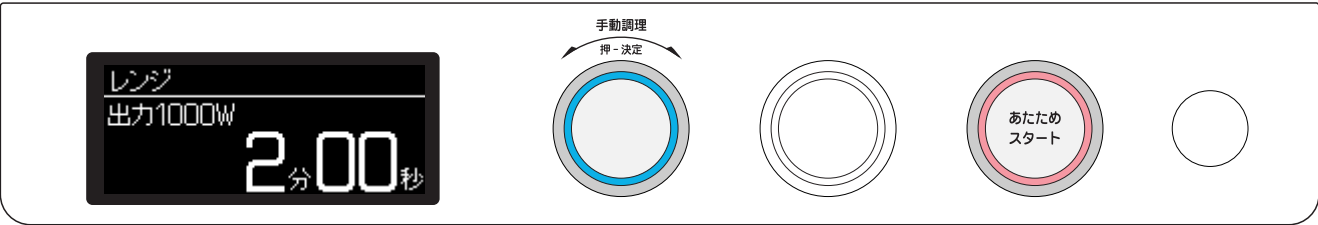
→ **手動調理で様子を見ながら行う**

■**調理途中で給水カセットの水がなくなると**

→ **ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅するので、給水カセットに水を追加する**

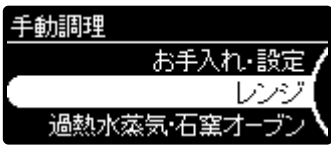
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

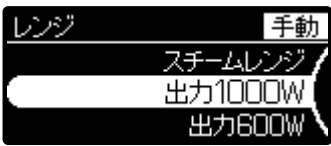
手動調理

レンジで調理する

例：レンジ1000Wで2分加熱する

1 食品を庫内に入れる

• 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、庫内中央におきます。
• スチームレンジのときは給水カセットの準備をします。23ページ参照。

2 回して**レンジ**を選択し、押して決定する

3 回して**出力**を選択し※、押して決定する

• 出力は1000W・600W・500W・200W

4 回して**時間**を設定する

• 最大設定時間
　レンジ1000W：15分
　レンジ600W、500W、スチームレンジ：30分
　レンジ200W：90分

5 押す

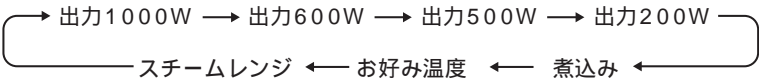
レンジ
出力1000W
1分59秒

▶ 加熱開始

▶ **ブザーが3回鳴り、調理終了**
• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
• 容器などが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。またスチーム吹出口に注意してください。

スチームレンジ
• 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
• 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
• 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

※ダイヤルを回すと次のように表示が変わります。

→ 出力1000W → 出力600W → 出力500W → 出力200W → 煮込み → お好み温度 → スチームレンジ →（出力1000Wに戻る）

遠赤石焼きプレートは庫内底面に置いておきます。

煮込み

• 初めに600W、次に200Wで加熱します。
• 操作4でまず600Wの時間を設定し決定後、同様にして200Wの時間を設定します。
• レンジ600Wが終わると続けてレンジ200Wの調理残時間を表示します。

●調理内容に合わせてラップを使う

・**あたためはラップ不要ですが、メニューによってはラップをかけて加熱**します。
　詳しくは手動加熱の設定時間の目安（57ページ）を確認してください。

●冷凍食品について

市販の冷凍食品を加熱するときは、パッケージ記載の出力と、加熱時間を参考にしてください。
加熱時間は目安ですので、加熱の過不足があるときは様子を見ながら時間を調節してください。

お願い
• とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
• 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。
　スチーム吹出口に注意してください。
• ミックスベジタブルの少量での解凍・加熱はしないでください。火花が出て焦げたり、乾燥することがあります。

■調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ **ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅するので給水カセットに水を追加する。**
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

■途中で調理時間を増減したいとき

→ **加熱中に手動調理ダイヤルを回して1分ずつ増減する**
• 1000W、600W、500Wの残時間表示が5分以下のときは、10秒単位の増減になります。
• 1回の調理で設定できる時間は増やせる時間を含め、1000Wで15分、600W・500W、スチームレンジで30分、200Wで90分までです。

■調理時間の合わせかた

調理時間はレンジの出力によって合わせかたが違います。

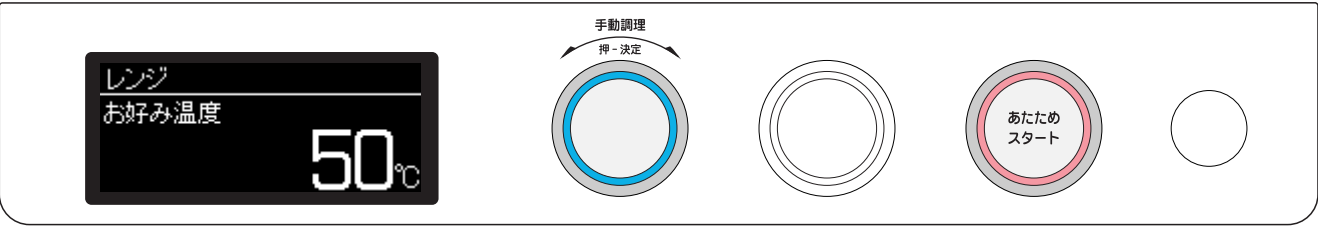
	0〜	5分〜	10分〜15分
レンジ1000W	10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

	0〜	5分〜	10分〜30分
レンジ600W 500W スチームレンジ	10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

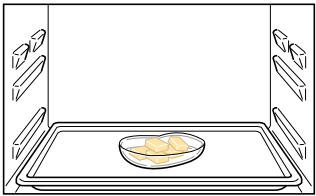
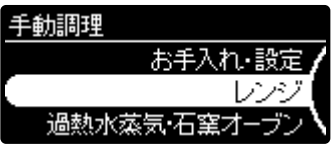
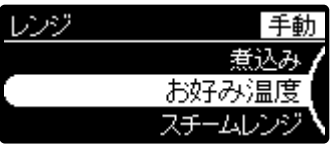
	0〜	15分〜	40分〜90分
レンジ200W	30秒間隔	1分間隔	5分間隔

手動調理

お好みの温度にあたためる

◆ 分量は一人分を基準としています。（分量の目安は49ページを参照してください）

例：バターを溶かす

1 食品を庫内に入れる

• 食品の量にあった耐熱性の容器に入れ、庫内中央に置きます。

2 回して**レンジ**を選択し、押して決定する

3 回して**お好み温度**を選択し、押して決定する

4 回して**温度**を設定する

• 設定温度：－10～90℃
• あたため温度の目安は右の表を参照してください。

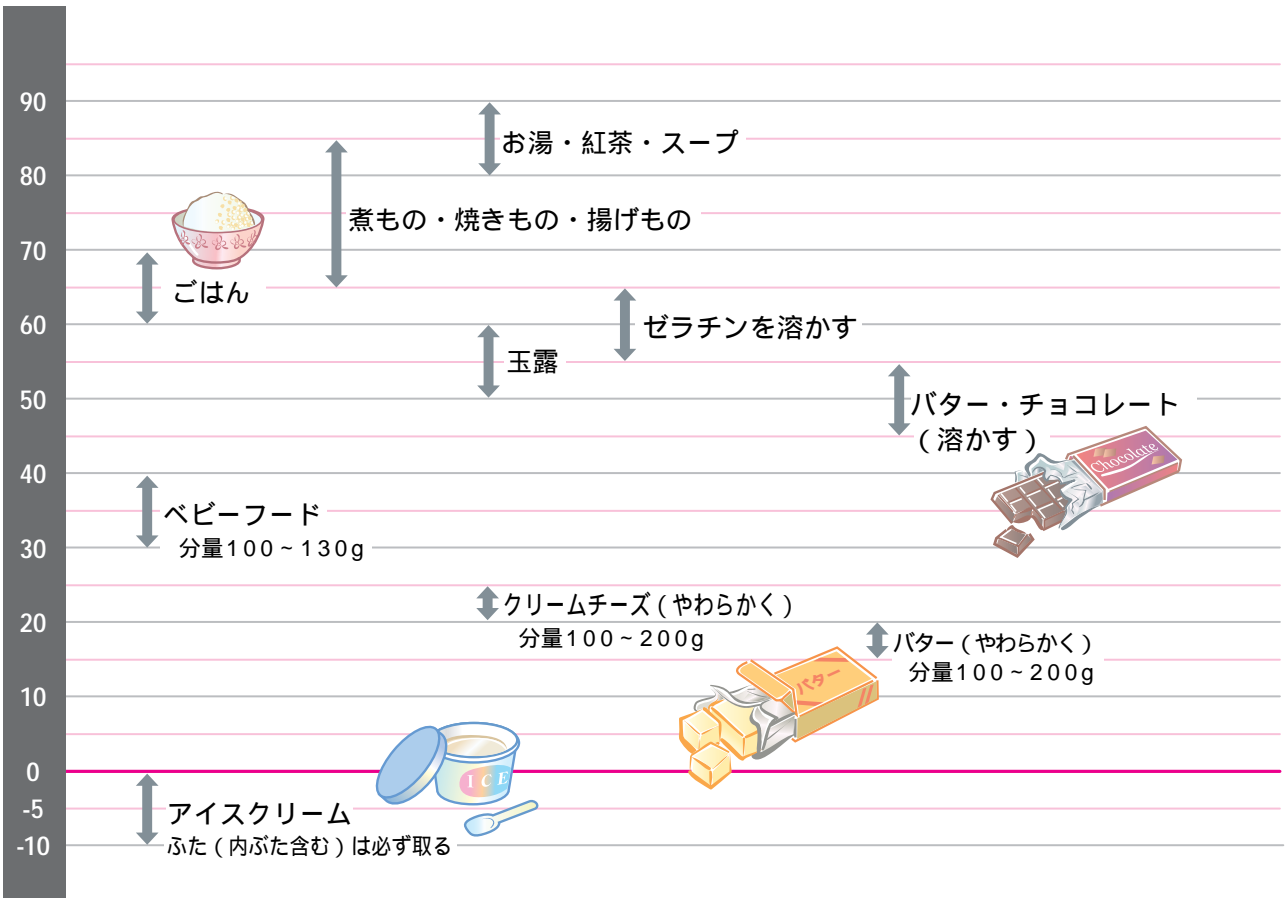
5 押す

食品のおよその温度を表示します。

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）

遠赤石焼きプレートは庫内底面に置いておきます。

おすすめ温度の目安（134ページ「お好み温度を上手に使って」も参照してください）

お好みの温度にあたためるとき

●食品は庫内中央に置く

●庫内を十分冷ましてから加熱する

• 庫内が熱いと赤外線センサーがうまく働きません。

●ラップやふたをしないで加熱する

※ラップは食品にぴったりつけないと、上手に加熱できません。

●ベビーフードについて

• 浅めの容器に移しかえて加熱します。
• 冷凍したものはあたためられません。「レンジ」で出力と時間を設定して、様子を見ながら加熱してください。
• 赤ちゃんに食べさせる前に必ずかきまぜて食品の温度を確かめてください。

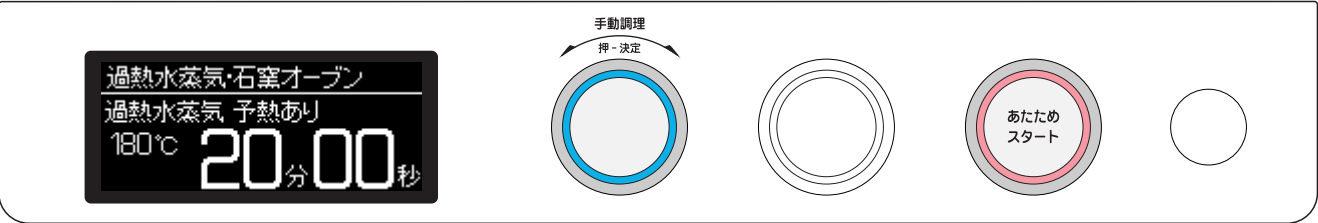
●分量・容器について

• 分量は一人分を基準としています。
• 分量が多いときは温度をやや高めに設定し、分量が少ないときはやや低めに設定してください。
• 容器の大きさ・形状・材質により仕上がり温度が変わることがあります。

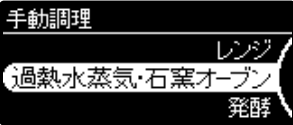
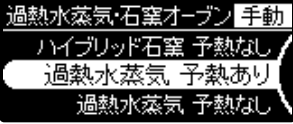
■調理終了後さらに加熱したいとき

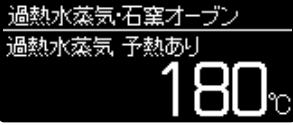
→ 手動調理で様子を見ながら行う

手動調理

過熱水蒸気・石窯オーブンで調理する（予熱あり）

1 給水カセットの準備をする

- 給水カセットの準備は23ページ参照。
  過熱水蒸気、ハイブリッド石窯のときは、必ず給水カセットの準備をしてください。

2 回して**過熱水蒸気・石窯オーブン**を選択し、押して決定する

3 回して**焼きかた**を選択し、押して決定する

4 回して**温度**を設定し、押して決定する

- 設定温度　ハイブリッド石窯、過熱水蒸気：100～250℃
  石窯オーブン：100～300℃

5 回して**時間**を設定する

- 最大設定時間　ハイブリッド石窯、過熱水蒸気：60分
  石窯オーブン：90分

■途中で調理時間を増減したいとき

→ **加熱中に手動調理ダイヤルを回して1分ずつ増減する**

- 1回の調理で設定できる時間は増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

■途中で調理温度を増減したいとき

→ **加熱中に手動調理ダイヤルを押し、設定温度が大きく表示されているとき（約5秒間）に手動調理ダイヤルを回して10℃ずつ増減する**

- ハイブリッド石窯で残り時間が2分以下になると、温度の増減はできません。

■調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ **ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅します。給水カセットに水を追加してください。水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）**

■調理時間の合わせかた

	0～15分	15分～40分	40分～60分
ハイブリッド石窯 過熱水蒸気	30秒間隔	1分間隔	5分間隔

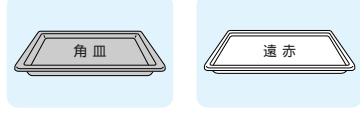
	0～15分	15分～40分	40分～90分
石窯オーブン	30秒間隔	1分間隔	5分間隔

組み合わせは料理集参照

※調理のときは遠赤石焼きプレートを底面からはずして使用します。

- 置いたまま使用すると、調理の仕上がりが悪くなることがあります。

ハイブリッド石窯とは…
最初は過熱水蒸気、途中から高火力のヒーターで焼き上げます。

過熱水蒸気とは…
最初から最後まで過熱水蒸気で焼き上げます。

石窯オーブンとは…
熱風で食品を包み込むように加熱します。

6 押す

- 庫内には何もセットしません。

▶ **予熱終了1分前に残り時間を表示**

▶ **ブザーが5回鳴り、「予熱終了」を表示**

- 20分間予熱保持

7 食品を庫内に入れる

8 押す

過熱水蒸気･石窯オーブン
過熱水蒸気 予熱あり
180℃ 19分59秒

▶ **加熱開始**

▶ **ブザーが3回鳴り、調理終了**

- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 遠赤石焼きプレートなどが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
  またスチーム吹出口に注意してください。
- 表示部に「庫内高温」が出ます。

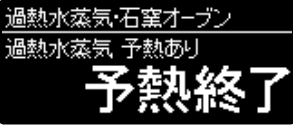
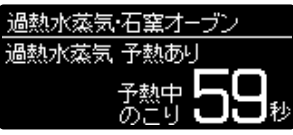
スチームを使ったとき

- 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
- 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
- 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

お願い

- とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
- 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

お知らせ

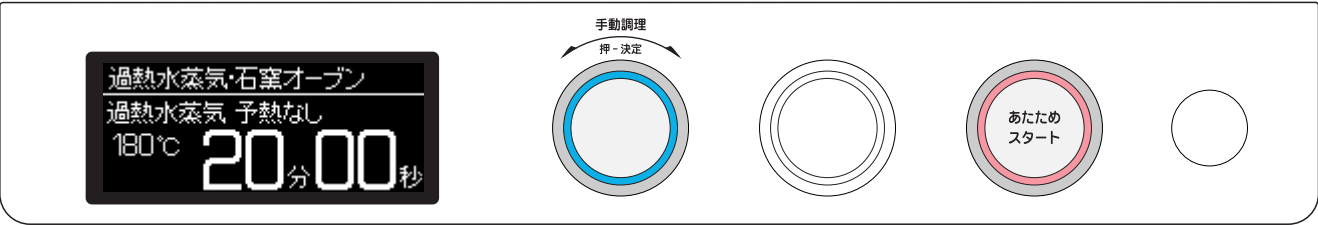
- 室温・形・量・大きさ・初期温度・電源電圧などにより、焼き上がりの状態が変わります。
  加熱途中で食品の上下前後を入れ替えたり、部分的にアルミホイルをかけると上手に仕上がります。
- ハイブリッド石窯は調理時間が残った状態で調理を終了すると、仕上がりが変わることがあります。

予熱あり

●予熱とは
作る料理に適した温度にあらかじめ庫内をあたためておくことです。

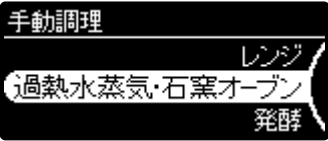
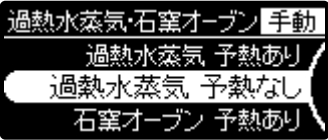
■予熱中の調理時間・温度の変更
→ **できません。**

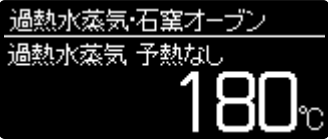
■予熱時間の目安
→ **300℃設定のとき、約17分**
250℃設定のとき、約14分
200℃設定のとき、約8分　です。

手動調理

過熱水蒸気・石窯オーブンで調理する（予熱なし）

1 給水カセットの準備をし、食品を庫内に入れる

• 給水カセットの準備は23ページ参照。
過熱水蒸気、ハイブリッド石窯のときは、必ず給水カセットの準備をしてください。

2 回して過熱水蒸気・石窯オーブンを選択し、押して決定する

3 回して焼きかたを選択し、押して決定する

4 回して温度を設定し、押して決定する

• 設定温度　ハイブリッド石窯、過熱水蒸気：100～250℃
石窯オーブン：100～300℃

5 回して時間を設定する

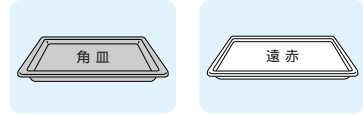
• 最大設定時間　ハイブリッド石窯、過熱水蒸気：60分
石窯オーブン：90分

お願い

• とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
• 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

お知らせ

• 室温・形・量・大きさ・初期温度・電源電圧などにより、焼き上がりの状態が変わります。
加熱途中で食品の上下前後を入れ替えたり、部分的にアルミホイルをかけると上手に仕上がります。
• ハイブリッド石窯は調理時間が残った状態で調理を終了すると、仕上がりが変わることがあります。

組み合わせは料理集参照

※調理のときは遠赤石焼きプレートを底面からはずして使用します。
• 置いたまま使用すると、調理の仕上がりが悪くなることがあります。

ハイブリッド石窯とは…
最初は過熱水蒸気、途中から高火力のヒーターで焼き上げます。
過熱水蒸気とは…
最初から最後まで過熱水蒸気で焼き上げます。
石窯オーブンとは…
熱風で食品を包み込むように加熱します。

6 押す

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
• 遠赤石焼きプレートなどが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。
またスチーム吹出口に注意してください。
• 表示部に「庫内高温」が出ます。

スチームを使ったとき
• 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
• 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
• 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

■途中で調理時間を増減したいとき

→ 加熱中に手動調理ダイヤルを回して1分ずつ増減する
• 1回の調理で設定できる時間は増やせる時間を含め、最大設定時間までです。

■途中で調理温度を増減したいとき

→ 加熱中に手動調理ダイヤルを押し、設定温度が大きく表示されているとき（約5秒間）に手動調理ダイヤルを回して10℃ずつ増減する
• ハイブリッド石窯で残り時間が2分以下になると、温度の増減はできません。

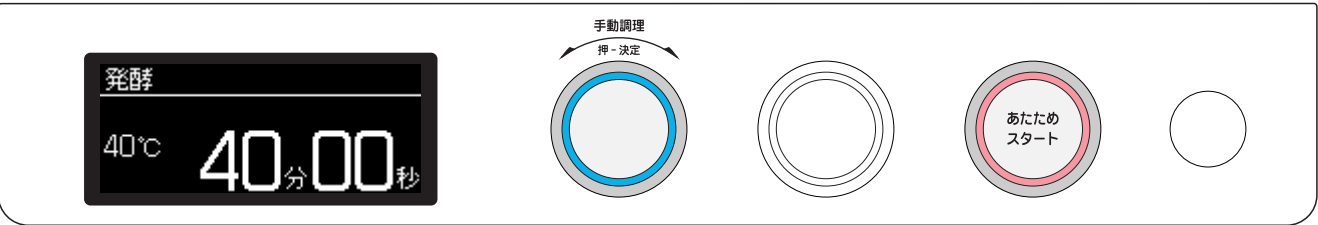
■調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅します。給水カセットに水を追加してください。
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。（調理途中でも給水カセットに水を追加することができます）

■調理時間の合わせかた

	0～15分	15～40分	40～60分
ハイブリッド石窯 過熱水蒸気	30秒間隔	1分間隔	5分間隔

	0～15分	15～40分	40～90分
石窯オーブン	30秒間隔	1分間隔	5分間隔

手動調理
発酵で調理する

例：40℃で発酵する

1 **食品を庫内に入れる**

2 **回して発酵を選択し、押して決定する**

3 **回して温度を選択し、押して決定する**

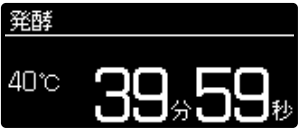
- 温度は45℃、40℃、35℃、30℃の設定ができます。

4 **回して時間を設定する**

- 最大設定時間：90分

5 **押す**

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）

■途中で調理時間を増減したいとき

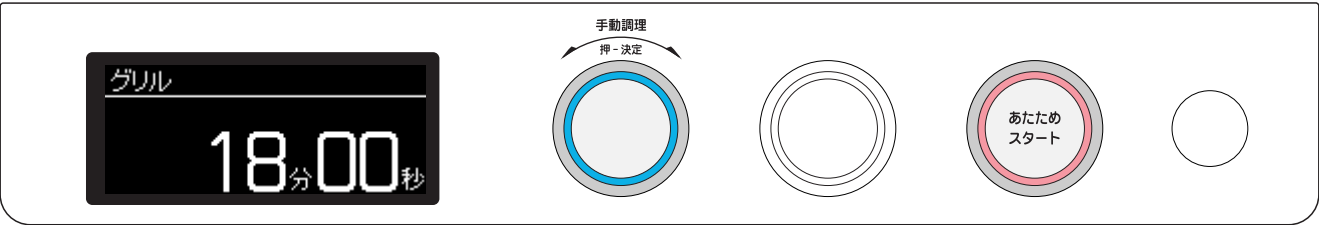
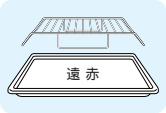
→ 加熱中に手動調理ダイヤルを回して1分ずつ増減する
- 1回の調理で設定できる時間は増やせる時間を含め、90分までです。

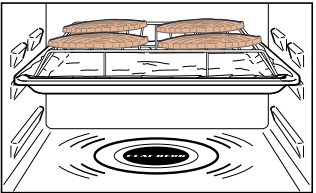
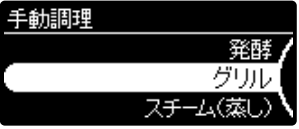
■庫内や付属品を十分冷ましてから発酵を行う

- 表示部に「庫内高温」が表示されたときは、「とりけし」キーを押しとびらを開けて庫内温度が下がるまでお待ちください。庫内温度が高いと発酵がうまくできません。

■調理時間の合わせかた

0〜15分	15分〜40分	40分〜90分
30秒間隔	1分間隔	5分間隔

手動調理
グリルで調理する

例：魚をグリルで焼く

1 **食品を庫内に入れる**

2 **回してグリルを選択し、押して決定する**

3 **回して時間を設定する**

- 最大設定時間：30分

4 **押す**

▶ 加熱開始

お知らせ
- 両面にしっかり焼き色をつけるために、必ず加熱の途中で食品を裏返します。

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
- 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。（5分間）
- 焼網などが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。

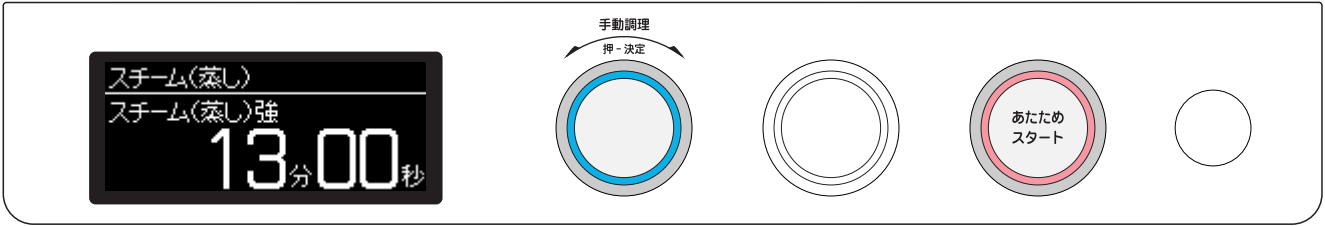
■途中で調理時間を増減したいとき

→ 加熱中に手動調理ダイヤルを回して1分ずつ増減する
- 1回の調理で設定できる時間は増やせる時間を含め、30分までです。

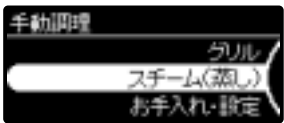
■調理時間の合わせかた

0〜5分	5分〜10分	10分〜30分
10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

手動調理

スチーム(蒸し)で調理する

1 給水カセットの準備をし、食品を庫内に入れる

• 給水カセットの準備は23ページ参照。

2 回してスチーム(蒸し)を選択し、押して決定する

3 回して強または弱を選択し、押して決定する

• 弱を選ぶとレンジ加熱が入ります。

4 回して時間を設定する

• 最大設定時間：25分

5 押す

▶ 加熱開始

▶ ブザーが3回鳴り、調理終了
• 取り忘れるとブザーが1分おきに鳴ります。(5分間)
• 容器などが熱くなっているので、気をつけて取り出してください。またスチーム吹出口に注意してください。
• 表示部に「庫内高温」が出るときがあります。

スチームを使ったとき
• 調理終了後とびらを開閉すると、パイプの水抜きの表示が出ます。「はい」を選んだときは143ページに従い、水抜きを行ってください。
• 調理終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。
• 庫内に残った水分は、冷めてから乾いたふきんでふき取ってください。

■途中で調理時間を増減したいとき

→ **加熱中に手動調理ダイヤルを回して1分ずつ増減する**
• 1回の調理で設定できる時間は増やせる時間を含め、25分までです。

■調理途中で給水カセットの水がなくなると

→ **ブザーが鳴り表示部に「水補給」が点滅します。給水カセットに水を追加してください。**
水を追加してしばらくすると「水補給」の表示が消えます。(調理途中でも給水カセットに水を追加することができます)

■調理時間の合わせかた

0〜5分	5分〜10分	10分〜25分
10秒間隔	30秒間隔	1分間隔

お願い
• とびらを開けて食品を取り出すときは、庫内から出てくるスチームに注意してください。
• 調理中にとびらを開けたときは、しばらくスチームが出ている場合があります。スチーム吹出口に注意してください。

手動加熱の設定時間の目安

◆ 出力と時間をセットする調理の目安です。

ラップあり…○　ラップなし…×

あたため(レンジ1000W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん	1杯(150g)	約40秒	×
どんぶりもの	1杯(340g)	約2分10秒	×
スープ・みそ汁	1杯(150cc)	約1分20秒	×
野菜の煮物	150g	約50秒	×
カレー・シチュー	200g	約1分40秒	○
シューマイ	6コ(100g)	約30秒	×
中華・肉・あんまん	1コ(80g)	約40秒	○
バターロール	2コ(70g)	約20秒	×
調理パン	1コ(110g)	約20秒	×

冷凍した食品のあたため(レンジ1000W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
冷凍ごはん	1杯(150g)	約2分	○
冷凍カレー・シチュー	300g	約6分	○
冷凍シューマイ	5コ(100g)	約1分20秒	○
冷凍中華・肉・あんまん	1コ(80g)	約50秒	○

冷凍の肉・魚の解凍(レンジ200W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
肉	100g	約1分50秒	×
	200g	約4分	×
	400g	約7分	×
	600g	約10分	×
さしみ	100g	約2分	×
	200g	約3分	×
	400g	約7分	×
	600g	約9分	×

のみもの(レンジ600W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
牛乳	1杯(200cc)	約1分50秒	×
お酒	1杯(160cc)	約1分	×

野菜のゆでもの(レンジ600W)

	メニュー名	分量	目安時間	ラップ
葉菜	ほうれん草	100g	約1分50秒	○
	キャベツ	100g	約2分10秒	○
	ブロッコリー	100g	約1分40秒	○
根菜	じゃがいも	1コ(150g)	約3分50秒	○
	さといも	100g	約2分40秒	○
	かぼちゃ	150g	約4分10秒	○
	にんじん	100g	約1分40秒	○

冷凍ゆで野菜の解凍(レンジ1000W)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
枝豆	100g	約1分20秒	○
さといも	100g	約1分40秒	○
かぼちゃ	150g	約2分40秒	○

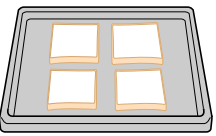
蒸し(スチーム(蒸し)強)

メニュー名	分量	目安時間	ラップ
中華・肉・あんまん	1コ(100g)	約8分	×
中華・肉・あんまん(冷凍)	1コ(100g)	約11分	×
シューマイ(冷蔵)	10コ(150g)	約10分	×
シューマイ(冷凍)	10コ(150g)	約15分	×

スチームレンジ(スチーム+レンジ400W)

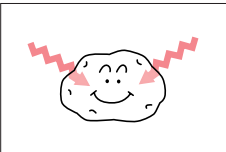
メニュー名	分量	目安時間	ラップ
ごはん(冷蔵)	1杯 (150g)	約1分50秒	×
肉まん(冷蔵)	1コ(100g)	約1分20秒	×
シューマイ(冷蔵)	10コ(150g)	約1分50秒	×
冷凍ごはん	1杯(150g)	約4分10秒	×
冷凍肉まん	1コ(100g)	約2分20秒	×
冷凍シューマイ	10コ(150g)	約4分30秒	×

トースト

• 分量…6枚切4枚
• 焼きかた…角皿を中段に入れ石窯オーブン(予熱あり)に合わせ、焼き温度250℃、焼き時間5〜10分にセットして予熱します。(予熱は約20分です)
予熱終了後に食パンを角皿にのせて中段に入れ、スタートを押して焼きます。
(角皿が熱くなっているので気をつけてください)

加熱のしくみ

レンジ加熱

電波で食品を内と外から同時に加熱します。

電波の性質
- 電波が食品に当たると食品の水分に吸収され、水の分子にまさつ運動が起こります。その結果、熱が発生し、食品は内部と外部が同時に加熱されます。
- 陶器や磁器などは電波を通しますが、金属製の容器や、アルミのレトルトパックなどは電波を反射するので加熱できません。

レンジ調理のポイント

●**加熱時間は**
食品の分量にほぼ比例します。分量を2倍にした場合は、加熱時間も2倍弱に合わせます。

●**レンジ加熱は**
食品の水分が飛び、乾燥したり固くなりやすいので、少な目の時間設定で加熱します。

センサーについて

■食品の表面温度を検知できる赤外線センサーで、仕上がり具合を温度で管理しています。食品の初期状態（常温・冷蔵・冷凍）に関係なく、仕上がり温度を設定して加熱をすることができます。

煮込み調理

- 食品を一度沸騰させてから、出力を自動的に下げて長時間味をしみ込ませる調理です。

●**加熱時間は**
選んだメニューによって、予め設定されていますので、設定する必要はありません。

お好み温度調理

- 食品を設定した温度にあたためます。（温度が優先される）
  低い温度の仕上がりができるので、ベビーフードのあたためや、バターなどをクリーム状にすることなどもできます。

●**調理温度と加熱時間は**
メニューによって、適温の仕上がり温度が違います。
57ページを参考に温度を設定します。
仕上がり温度を優先する加熱なので時間は設定しません。

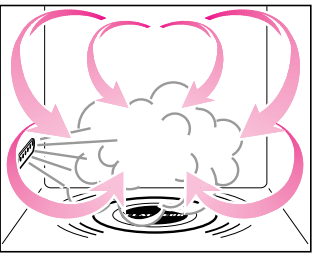
スチーム加熱

- **スチームで食品を加熱します。**

■メニューによってはヒーター加熱で庫内をあたためたあと、電波とスチームで加熱します。

ヒーター加熱

過熱水蒸気・オーブン調理

庫内奥にあるヒーターとファンの働きで、過熱水蒸気や熱風をすみずみまで広げ、食品を包みこむように加熱します。

角皿（1段）
- お惣菜やお菓子を調理するときなどに使います。
  詳しくは料理集をご覧ください。

角皿（2段）
- 一度にたくさんの食品（クッキー・バターロール）を調理するときに使います。詳しくは料理集をご覧ください。

※庫内温度は測定場所や食品の量などによってばらつくことがあります。

過熱水蒸気・オーブン調理のポイント

●**食品の置きかたは**
加熱により、大きくなるメニューもあります。適度な間を開けてください。

●**加熱時間は**
食品の様子を見ながら加減してください。続けて加熱するときなど庫内温度が高いときは、加熱時間を短く設定し様子を見ます。

●**加熱中は**
庫内の温度が下がりやすいのでとびらの開閉は少なくしましょう。

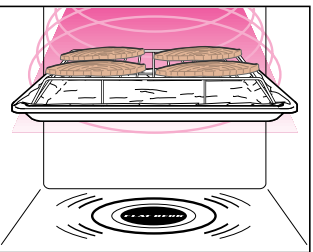
●**焼きムラが気になるときは**
加熱途中で食品の前後を入れ替えたり、濃い焼き色部分だけアルミホイルをかけます。

●**加熱後は**
焦げすぎを防ぐためすぐ取り出しましょう。

■メニューによっては遠赤石焼きプレートを使用します。［詳しくは料理集をご覧ください。］

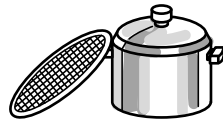
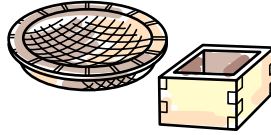
グリル調理

上ヒーターの強い熱を直接使って、食品の表面に焦げめをつけます。

遠赤石焼きプレート＋焼網
- 魚などを、焼くときに使います。

●**均等に焼き色をつけるために**
加熱途中で食品を裏返します。

●**加熱後は**
焦げすぎを防ぐためすぐ取り出しましょう。

発酵

パン生地の発酵に使います。

使える容器・使えない容器

耐熱温度は容器に表示されている家庭用品品質表示法の表示をご覧ください。
メニューナビで使用する容器は料理集に従ってご使用ください。

容器の種類：**ガラス**	**レンジ、スチーム（蒸し）のとき**	**過熱水蒸気・石窯オーブン、グリルのとき**
耐熱性がある	**使えます** ・ただし、加熱後急冷すると、割れることがあります。 ・自動であたためるときはふたをはずしてください。	**使えます** ただし、加熱後急冷すると、割れることがあります。
耐熱性がない	**使えません** カットグラス、強化ガラスなど、ガラスの厚みの変化が大きなもの、ひずみのあるものも使えません。	**使えません**

容器の種類：**プラスチック**	**レンジ、スチーム（蒸し）のとき**	**過熱水蒸気・石窯オーブン、グリルのとき**
耐熱性がある （耐熱温度140℃以上） 「電子レンジ使用可能」表示があるもの	**使えます** ・ただし、ふたには熱に弱い物、密閉性の高い物がありますのではずしてください。 ・油脂、糖分の多い食品は、高温になるので使えません。 ・自動であたためるときはふたをはずしてください。	**使えません** 変形したり割れたりすることがあります。
耐熱性がない （耐熱温度140℃未満）	**使えません** 電波で変形するもの （ポリエチレン・スチロール・フェノール・メラミン・ユリア樹脂など）は使えません。 ※ただし生解凍では発泡スチロール製のトレイが使えます。	**使えません**

容器の種類：**陶磁器・漆器**	**レンジ、スチーム（蒸し）のとき**	**過熱水蒸気・石窯オーブン、グリルのとき**
陶器・磁器	**使えます** ただし、金・銀粉、金・銀箔使用の容器は火花が飛ぶことがあるので使えません。	**使えません** ただし、耐熱性のある陶器、磁器土鍋、グラタン皿などは使えます。
漆器	**使えません** 塗りが剥がれたり、ひびが入る恐れがあります。	**使えません**

容器の種類：**金属**	**レンジ、スチーム（蒸し）のとき**	**過熱水蒸気・石窯オーブン、グリルのとき**
アルミ・ホーローなどの金属容器、金網、金串	**使えません** とくに金網、金串は火花が飛ぶことがあります。	**使えます** ただし、取っ手が樹脂の物は使えません。 一部のメニューでは使えません。

容器の種類：**その他**	**レンジ、スチーム（蒸し）のとき**	**過熱水蒸気・石窯オーブン、グリルのとき**
木・竹・紙製品	**使えません** 金属物を使っている物は、スパークしたり、燃えたりすることがあります。ただし、らくらくベーカリー・スチームレンジでは、耐熱加工を施した紙やケーキ用の硫酸紙を使うことができます。	**使えません** ただし、耐熱加工を施した紙やケーキ用の硫酸紙は使えます。
アルミホイル	**使えません** ただし、レンジ加熱で生解凍を行うときなどに電波を反射する性質を利用して部分的に使うこともあります。	**使えます** 角皿に敷いたり、こげ目の加減をするときやホイル焼きに使います。 一部のメニューでは使えません。
ラップ（耐熱温度140℃以上）	**使えます** ただし、油分の多い料理は高温になるので使えません。 ポリエチレン製のラップは溶けて燃えることがあるので使えません。	**使えません** 高温になり、溶ける恐れがあります。

お手入れのしかた お手入れはすぐにこまめにがポイントです

⚠警告

プラグを抜く

お手入れのときは、電源プラグをコンセントから抜く
感電・けが・やけどの原因になります。

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない
感電の原因になります。

⚠注意

プラグを抜き冷めてから

本体の掃除は、電源プラグを抜き本体がさめてから行う
感電や、やけどをする恐れがあります。

禁 止

食品や肉汁などで、汚れたままにしない
結露した水分はふきとる
さび・発煙・発火などの原因になります。
- 付着した場合は、本体が冷めてから必ずふきとってください。

水抜き中、とびらは閉めておく
水抜き中も、スチーム調理と同様に、スチームが発生します。
やけどの原因になりますのでとびらは閉めておきます。

キャビネット・とびら

かたくしぼった、ぬれふきんでふく。
- ひどい汚れは薄めた台所用洗剤（中性）をしみ込ませた布でふき取り、必ず洗剤分をふき取ってください。

お願い
- 水をかけないでください。
  さびたり故障したりすることがあります。

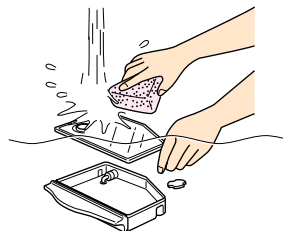
庫内・とびらの内側

かたくしぼった、ぬれふきんでふく。
- 落ちにくい汚れは、ぬれたふきんを汚れの上に置いて30分ぐらいふやかしてからふきます。
- スチーム調理をくりかえし行った後に庫内に白い粉（水の中の溶解物）が付着することがあります。ぬれたふきんでふき取ってください。

スチーム調理後に結露した場合は、冷めてから乾いた布でふき取る。

お願い
- たわしやフォークなど先のとがった物でこすらないでください。傷になったり、割れる原因になります。

給水カセット・水受け

スポンジたわしで汚れをおとし、十分に水気をふき取る。
汚れが気になる方は、中性洗剤を水で薄めて洗い流してください。

お願い
- 食洗機、食器乾燥機に入れたり、乾燥させる場合に直射日光に当てて乾燥させないでください。給水カセットの変形、破損の原因になります。

■お手入れしても庫内の臭いが取れないとき

庫内のカラ焼き（22ページ参照）をしてください。臭いがやわらぎます。

■長期間ご使用にならないとき

パイプの水抜きを行った後、電源プラグをコンセントから抜き、各部をお手入れしてから、湿気や、ほこりがかからないようにして、おしまいください。

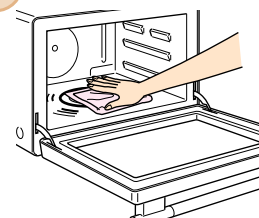
お願い

住宅家具用洗剤（弱アルカリ、アルカリ、弱酸性、酸性など）、オーブンクリーナー、クレンザー、ベンジン、シンナー、漂白剤、熱湯、可燃性ガス（LPGなど）入りスプレー洗剤は使わないでください。
損傷、変色、変形、発煙、発火などの原因になります。

禁 止

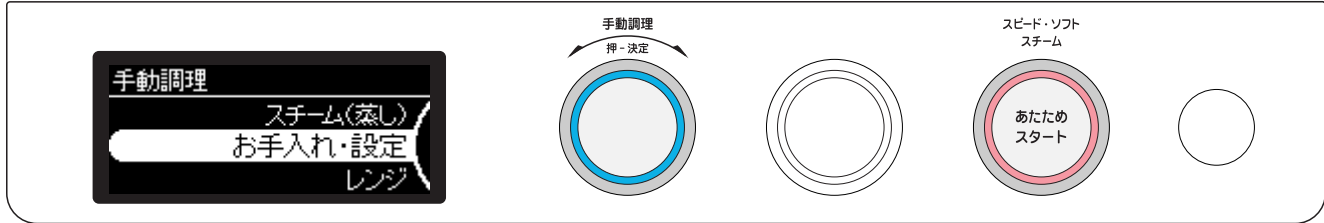
アドバイス
スチームを使用して、庫内・焼網・角皿などの汚れを浮き上がらせることもできます。
142ページの「スチームを使ったお手入れのしかた」を参考に行ってください。
（142ページ以外の方法では行わないでください。）

庫内底面

庫内底面の汚れはぬれふきんですぐふき取る。
レンジ使用時の汚れが、オーブン使用時に焦げて黒くなることがあります。
汚れが落ちにくいときは、汚れた部分に液体クレンザー（クリームクレンザー）を付け、2分程度おいて汚れにしみ込ませ、丸めたラップで強めにこすります。

お願い
- 周囲のシリコンパッキンや庫内塗装面は傷がつくのでこすらないでください。
- 金属たわしや先のとがったものでこすったり、衝撃を与えたりしないでください。傷ついたり、割れることがあります。

角皿・遠赤石焼きプレート

スポンジたわしで汚れを落とし、十分に水気をふき取る。
汚れは洗い桶などの中で落とす。
- 汚れが落ちないときは、水で薄めた漂白剤に一晩つけてください。
- 角皿に水気が残っているとサビが付くことがあります。

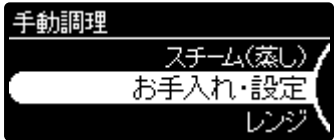
お願い
- 使用後、急冷しないでください。破損・変形することがあります。
  また加熱直後に水をかけると蒸気が発生したり、熱いしぶきが飛びます。
- 金属たわしや先のとがったものでこすったり、落としたりしないでください。傷ついたり、割れたり、変形することがあります。

お手入れのしかた（つづき）

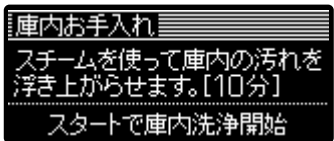
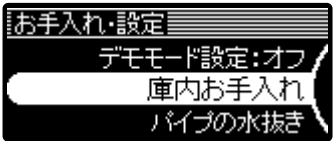
スチームを使ったお手入れのしかた

スチームで、庫内・焼網・角皿・遠赤石焼きプレートの汚れを浮かせて、ふき取りやすくします。

1 **給水カセットを本体にセットし、汚れを落としたい焼網・角皿・遠赤石焼きプレートを庫内に入れる**

- 給水カセットの準備は23ページ参照

2 **回してお手入れ・設定を選択し、押して決定する**

3 **回して庫内お手入れを選択し、押して決定する**

庫内お手入れ
スチームを使って庫内の汚れを浮き上がらせます。[10分]
スタートで庫内洗浄開始

4 **押す**

▶ **ブザーが3回鳴り、終了**

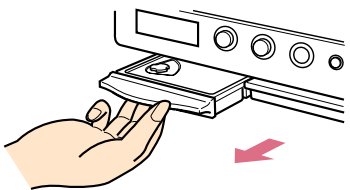
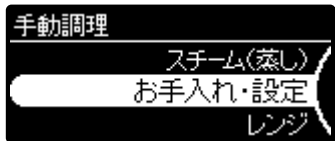
- 電源プラグをコンセントから抜き、庫内・焼網・角皿・遠赤石焼きプレートの温度が下がってから、汚れをふき取ってください。
- 終了後、給水カセット・水受けの水はすべて捨て、給水カセットを水洗いしてください。

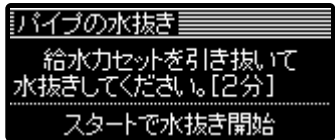
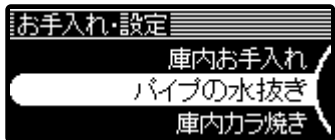
お知らせ

- 終了直後は、庫内・焼網・角皿・遠赤石焼きプレート・スチーム吹出口が熱くなっていますので、気をつけてください。

パイプの水抜きのしかた

スチーム調理終了後には、必ずパイプの水抜きを行ってください。

1 **給水カセットを本体から取りはずす**

2 **回してお手入れ・設定を選択し、押して決定する**

3 **回してパイプの水抜きを選択し、押して決定する**

4 **押す**

パイプの水抜き
水抜きのこり 1分30秒

▶ **水抜き開始**

▶ **約2分後にブザーが3回鳴り、水抜き終了**

- 終了後はとびらを開けて、庫内を乾燥させてください。

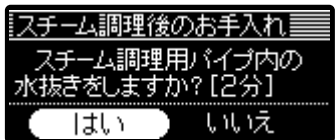
お知らせ

- パイプの水抜き中（約2分間）はキー操作など他の作業を行わないでください。
- 水抜き中は、とびらを閉めておいてください。水抜きの水がスチームになり、スチーム吹出口が熱くなっていますので気をつけてください。

■スチーム調理終了後の水抜き

スチーム調理終了後とびらを開閉すると右の表示が出ます。

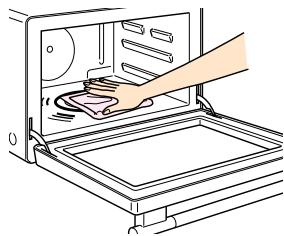
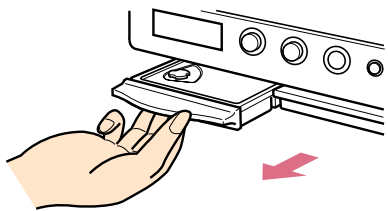
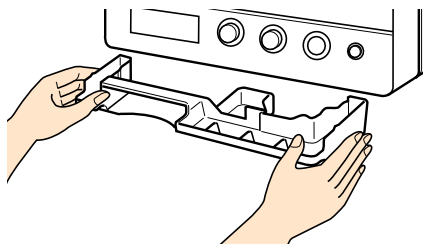
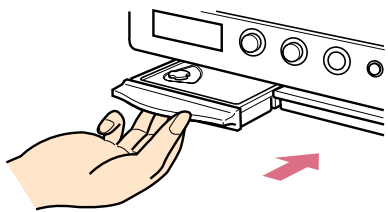
手動調理ダイヤルを回して「はい」を選ぶとパイプの水抜きとなります。

上記「パイプの水抜きのしかた」の1、4を行う

お手入れのしかた（つづき）

スチーム調理終了後のお手入れについて

スチーム調理終了後は、必ず庫内に残った水滴を、乾いたふきんなどでふき取ってください。
庫内に水滴が残ったままスチーム調理を繰り返すと、水受けから水があふれることがあります。

1 庫内やとびらの水滴を、乾いたふきんなどでふき取る

・遠赤石焼きプレートにたまった水滴もふき取ってください。

2 給水カセットを本体から取りはずす

3 水受けをはずし、たまった水を捨て、本体にセットする

4 給水カセットを本体にセットする

お料理が上手にできないとき（レンジ加熱、スチーム加熱）

●ごはん・おかずのあたため

症状	確認・対処
調理がすぐに終了する あたためキーであたためても熱くならない	●庫内（とくに底面）の温度が高いとセンサーが正しく働かないことがあります。庫内を冷ましてから加熱してください。
食品があたたまらない	●食品が金属容器・アルミホイルなどで、おおわれていませんか。
あたためキーであたためると熱くなりすぎる	●陶器やガラス製のふたを使っていませんか。 →赤外線センサーがうまく働かないことがあります。 ●食品は庫内中央に置いていますか。
ごはんがぱさつく	●加熱前に水を少しかけると、しっとり仕上がります。 ●スチームレンジであたためると、しっとり仕上がります。
カレーやシチューがあたたまらない	●とろみのある食品は仕上がり調節を〔強め4〕に設定して加熱してください。
冷凍ごはんがあたたまらない	●表面がとけかかっていたり、新しいラップをかぶせるとセンサーが正しく働かないことがあります。冷凍庫から出してすぐのものをお使いください。
冷凍食品があたたまらない	●表面がとけかかっていたり、新しいラップをかぶせるとセンサーが正しく働かないことがあります。冷凍庫から出してすぐのものをお使いください。また、必ず食品にラップがふれるようにかぶせてください。
食品がぱさつく	●スチームレンジであたためると、しっとり仕上がります。
フライや天ぷらがベチョッとする	●カラッとあたためであたためると、カラッと仕上がります。

●生解凍

症状	確認・対処
上手に解凍できない	●食品を浅めのトレイかペーパータオルの上にのせて加熱してください →深めのトレイに食品が入っていると、トレイのふちがじゃまになり温度をうまく測定できず、上手に解凍できないことがあります。 ●うまく解凍できる厚さは3cmまで。厚さは均一にし、細い部分や魚の尾などにはアルミホイルを巻いてください。 ●同時に2つ以上を解凍するときは同じ種類のもので同じ大きさに。
解凍不足	●食品の温度が部分的に上昇するとセンサーの働きで、加熱終了となり、解凍不足になることがあります。 →食品に薄いところや細いところがあると部分的に加熱されやすいので全体の厚さをそろえて冷凍してください。 →加熱不足の部分はレンジ200Wで様子を見ながら加熱してください。 →表面がとけかかっていたり、新しいラップをかぶせるとセンサーが正しく働かないことがあります。冷凍庫から出してすぐのものをお使いください。

お料理が上手にできないとき（レンジ加熱、スチーム加熱）（つづき）

●のみもののあたため

症状	対処
調理がすぐに終了する のみものの温度が低い	●庫内（とくに底面）の温度が高いとセンサーが正しく働かないことがあります。庫内を冷ましてから加熱してください。
牛乳が熱くなりすぎる	●「牛乳」で加熱していますか？「あたため」では熱くなります。 ●分量はどのくらい入っていますか？容器に対して7～8分目まで入れてください。容器に対して少量しか入れないと沸騰する恐れがあります。 ●容器は31ページのものを参考にしてください。
牛乳にマクができる	●加熱後、放置しておくとマクが張ることがあります。すぐにかき混ぜるとできにくくなります。
お酒が熱くなりすぎる	●「お酒」で加熱していますか？「あたため」では熱くなります。
お酒が上の方と下の方で温度が違う	●とっくりの首の部分をアルミホイルで覆うと上下の差が少なくなります。

●ゆでもの

症状	対処
野菜が乾燥気味になる	●野菜を洗い、水気を切らずにラップにくるんでください。
できすぎのところと、加熱の足りないところがある	●かぼちゃ、じゃがいもなどは大きさをそろえてください。ほうれん草などは葉と茎を交互に重ねます。

●お好み温度

症状	対処
調理がすぐに終了する 食品の温度が低い	●庫内（とくに底面）の温度が高いとセンサーが正しく働かないことがあります。庫内を冷ましてから加熱してください。

●スチームあたため

症状	対処
あたため時間が長くかかる	●スチームを発生させてあたためるので、電子レンジ加熱のみのあたためより時間がかかります。

●蒸し物

症状	対処
うまくできない	●分量は合っていますか。料理集に記載されている分量を変えるとうまくできません。 ●水がなくなっていませんか。水の量が少なかったり、水を入れ忘れるとスチームが出ないのでうまくできません。

●スチーム加熱全般

症状	対処
うまくできない	●水がなくなっていませんか。水の量が少なかったり、水を入れ忘れるとスチームが出ないのでうまくできません。

お料理が上手にできないとき（過熱水蒸気・オーブン加熱）（つづき）

●オーブン調理で上手に仕上げるために

• 室温・形・量・大きさ・初期温度・電源電圧などにより、焼き上がりの状態が変わります。加熱途中で食品の前後を入れ替えたり、部分的にアルミホイルをかけると上手に仕上がります。

●スポンジケーキ

症状	対処
ケーキのふくらみが悪い	●卵はしっかりと泡立てましたか。字が書けるくらいしっかりと泡立ててください。 ●粉を合わせたあと、混ぜすぎていませんか。
泡立てがうまくできない	●ボウルや泡立て器に、水分や油分がついていると泡立ちが悪くなります。
きめが粗く粉っぽい	●粉をふるって入れましたか。 ●粉がなじむまで混ぜましたか。
中央が沈む	●卵の泡立てすぎはありませんか。

●シフォンケーキ

症状	対処
ふくらみが悪い	●卵白をしっかり泡立ててください。ボウルをひっくり返しても落ちてこないくらいまで、しっかりと泡立ててください。卵白は冷やしておいた方がよく泡立ちます。
ケーキの中に空洞ができた	●型に生地を流し入れるときに空気が入ったと考えられます。生地を高いところから一気に入れましょう。

●シュークリーム

症状	対処
ふくらみが悪い	●分量は正しく量りましたか。 ●生地を作るときにレンジの加熱時間は正しかったですか。

●クッキー

症状	対処
焼き色にむらがある	●生地の厚みや大きさは均一ですか。

●バターロール

症状	対処
ふくらみが悪く、かたい	●生地の発酵は十分でしたか。発酵不足で生地温度が低いとあまりふくらみません。 ●成形するとき生地をいじめていませんか。生地をいじりすぎると固くなります。ていねいに扱いましょう。

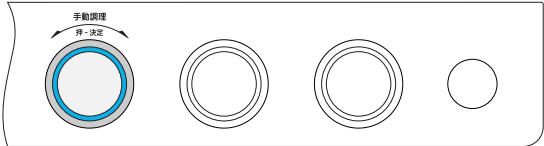
●フランスパン

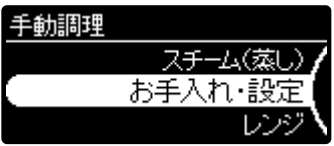
症状	対処
上手にできない	●82ページのフランスパン作りのコツを参照してください。

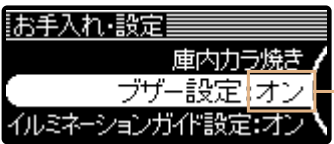
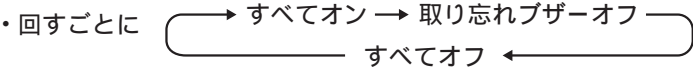
こんな表示が出たときは

表示例	理由（原因）	処置
とびらを開閉してください あたためキー受付できません。とびらを開閉して、1分以内にキーを押してください。	●「あたため」のとき、とびらを閉め、1分過ぎてからキーを押すと表示します。	●もう1度とびらを開閉し、1分以内にキーを押してください。
「冷却中」が点滅 冷却中 調理方法を選んでください	●レンジ加熱を繰り返し使用した場合や、オーブンなどヒーター加熱調理終了後、機械室等を冷却するとき表示します。	●表示中でも調理できます。 （但し、「庫内高温」などが表示されている場合は、使用できないメニューもあります。）
「庫内高温」が点滅 庫内高温 調理方法を選んでください	●オーブンなどヒーター加熱調理終了後、庫内が高温のとき表示します。	●とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。 （15〜20分程度で表示が消えます。表示中でも「とりけし」キーを押すか調理メニューを設定すると消え、一部のメニューは使うことができます。）
庫内高温 庫内温度が高いため、発酵や生解凍はできません。	●オーブンなどヒーター加熱調理の後などで、庫内温度が高いときに「発酵」「生解凍」を設定しスタートすると表示します。	●「とりけし」キーを押し、とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。
庫内高温 庫内温度が高いため、自動調理はできません。手動調理は使えます。	●オーブンなどヒーター加熱調理の後などで、庫内温度が高いときに「あたため」「お好み温度」および一部のメニューをスタートすると表示します。	●「とりけし」キーを押し、とびらを開け、温度が下がるまで待ってください。 （手動の「レンジ」は使えます。但し「お好み温度」は使えません。）
表示番号 故障 H02 電源プラグを抜き、ご販売店または東芝家電修理ご相談センターへご連絡ください。	●製品が故障したとき表示します。	●電源プラグを抜き、販売店または東芝家電修理ご相談センターへ修理を依頼してください。 その際、表示番号をお知らせください。
「水補給」が点滅 かぶら蒸し　水補給 給水カセットに水がありません。水を補給して、「スタート」を押してください。 「水補給」が点滅 スチーム(蒸し)　水補給 かぶら蒸し 2分59秒	●給水カセットに水が無いと表示します。	●調理が一時停止したときは、給水カセットに水を入れ、取り付けた後「スタート」キーを押してください。 ●一時停止しない場合は、給水カセットに水を入れ、取り付けてください。しばらくすると水補給表示は消えます。

設定

ブザー設定

ブザーの消しかたと戻しかた

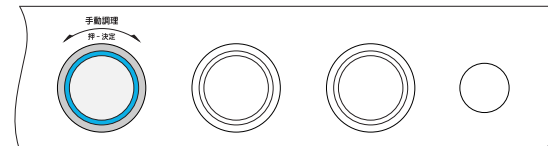
1 回して**お手入れ・設定**を選択し、押して決定する

2 回して**ブザー設定**を選択し、押して決定する

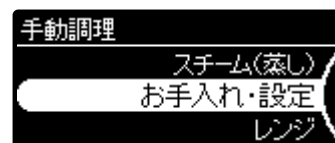
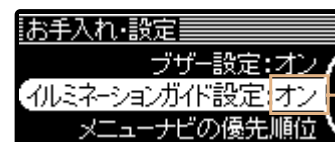
現在の設定内容が表示されます。

3 回して**設定内容**を選択し、押して決定する

・回すごとに すべてオン → 取り忘れブザーオフ → すべてオフ → と変わります。

オフに設定した場合には、初期画面アイコンに表示されます。

次の操作・状態のとき、ブザーでお知らせします。

- ■キーを押したときは→ピッ
- ■調理終了のときは→ピーッピーッピーッ
- ■予熱終了、途中操作のある場合は→ピーッピーッピーッピーッピーッ
- ■加熱終了後、食品を取り出し忘れると→ピーッピーッピーッ
- ■異常表示のときは→ピピピピピピ
- ■水補給表示のときは
  - ・調理が一時停止した場合→ピピピピピピ
  - ・調理が一時停止しない場合→1分おきにピピピ

設定
イルミネーションガイド設定

イルミネーションガイドの消しかたと戻しかた

1 回して**お手入れ・設定**を選択し、押して決定する

2 回して**イルミネーションガイド設定**を選択し、押して決定する

現在の設定内容が表示されます。

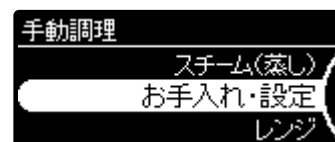
3 回して**設定内容**を選択し、押して決定する

• 回すごとに **オン** ⟷ **オフ** と変わります。

オフに設定した場合には、ダイヤルとスタートキーの周りが光らなくなります。
また、初期画面アイコンに表示されます。

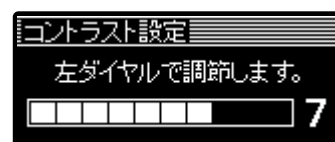
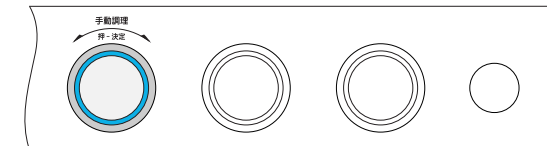
設定
コントラスト設定

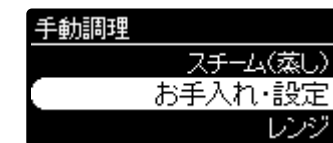
液晶表示の見えかたを調整する

1 回して**お手入れ・設定**を選択し、押して決定する

2 回して**コントラスト設定**を選択し、押して決定する

現在の設定内容が表示されます。

3 回して**設定内容**を選択し、押して決定する

• 右に回すと濃くなり、左に回すと薄くなります。

設定
デモモード設定

デモモードの設定と解除

1 回して**お手入れ・設定**を選択し、押して決定する

2 回して**デモモード設定**を選択し、押して決定する

現在の設定内容が表示されます。

3 回して**設定内容**を選択し、押して決定する

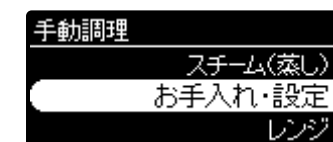
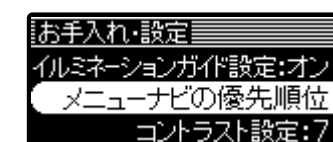
デモモード設定
オン
オフ

• 回すごとに **オン** ⟷ **オフ** と変わります。

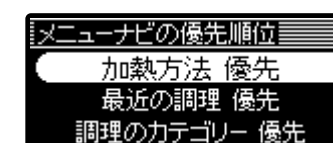
デモモードに設定すると、初期画面および操作画面に デモ が表示されます。

設定
メニューナビの優先順位設定

メニューナビの優先順位を変える

1 回して**お手入れ・設定**を選択し、押して決定する

2 回して**メニューナビの優先順位**を選択し、押して決定する

3 回して**優先したいもの**を選択し、押して決定する

メニューナビの優先順位
加熱方法 優先
最近の調理 優先
調理のカテゴリー 優先

• メニューナビを使用するときに、
この設定で選んだ項目が優先して選択された状態になります。
（初期状態では加熱方法から選ぶが選択されています。）

修理を依頼される前に

つぎのような場合は故障ではありません。

現 象	理由（処置）
電源プラグを、コンセントに差し込んでも何も表示しない。	●とびらを閉じた状態で、電源プラグをコンセントに差し込んだだけでは電源は入りません。 一度とびらを開けると、電源が入り表示します。
調理中、カチカチと音がする。	●機械室内のスイッチ切換え音です。故障ではありません。
オーブンなど、ヒーター加熱時に、ボコッボコッという連続音や、ボコンという音がする。	●熱収縮による加熱室壁面の音で故障ではありません。
電子レンジ調理の開始時および途中に、ジーという連続音がする。	●電子レンジ調理時の動作音で故障ではありません。
調理中、調理後に音（ファン）がしたり、しなかったりする。	●機械室等を冷却するファンの音で故障ではありません。 ●調理後、冷却ファンが回ることがありますが故障ではありません。 冷却ファンが回っているときは「冷却中」表示が点滅します。
キーを、押しても受け付けず、何も表示しない。	●とびらを開け、食品を入れてから操作してください。 （省エネルギーのため、とびらを開けた後5分をすぎると電源を切るためです。）
とびらを開けると表示部に初期画面が表示された後、待機画面が表示される。	●とびらを開けたとき電源が入る仕様です。
調理終了後、1分後、1分ごとにピーッピーッピーッと鳴る。	●調理終了後、庫内の食品を取り出さないと鳴る機能がついています。 故障ではありません。
スチームが出ない。	●給水カセットに水を入れ、正しく本体にセットされていますか。 ●オーブン加熱時はスチームが出ていても目には見えません。
スチーム調理中にジュワー、ブシュー、シュワー、ブシュブシュなどの音がする。	●スチームヒーターで加熱された水が蒸発するときの音で、故障ではありません。使い始めてからしばらくは、特に音が大きい場合があります。
とびらがくもる。水滴が落ちる。 とびらの隙間から蒸気がもれる。 庫内に水が残る。	●メニューによっては水滴が出たり、蒸気がもれたりする場合がありますが、本体に影響はありません。 水滴は冷めてから乾いた布でふきとってください。
とびらと本体の間から蒸気がもれる。	●蒸気の量や室温によって蒸気がもれることがありますが、調理など性能上の影響はありません。 また、電子レンジ調理での電波のもれはありません。
煙やいやな臭いが出た。	●お使いになり始めた当初は、防錆の油が焼けて臭いや煙が出ることがありますが、故障ではありません。

修理を依頼される前につぎのことを点検してください。

現 象	理由（処置）
まったく動かない。	●停電ではありませんか。 ●電源プラグが抜けていませんか。 ●ご家庭のヒューズやブレーカーが切れていませんか。 ●途中でとびらを開閉しませんでしたか。 ●無表示の状態で、キー操作をしていませんか。 （とびらを開け、食品を入れてからキー操作してください。）
「あたため」「スタート」キーを押しても加熱されない。	●「あたため」のとき、とびらを閉め1分をすぎてからキーを押していませんか。（一度とびらを開閉してから、キーを押してください。） ●「庫内高温」が表示されていませんか。 （一部のメニューは庫内温度が高いと調理がスタートしません。とびらを開けて庫内をさまし、「庫内高温」表示が消えてからキーを操作してください。） ●デモモードになっていませんか。 デモモード設定（151ページ）を参照して、設定しなおしてください。
ブザーが鳴らない。	●ブザー音を消す設定になっていませんか。 ブザー設定（149ページ）を参照して、設定しなおしてください。
イルミネーションガイドが光らない。	●イルミネーションガイドを消す設定になっていませんか。 イルミネーションガイド設定（150ページ）を参照して、設定しなおしてください。
料理のでき上がりが悪い。	●調理のしかたは正しいですか。 （ふた、ラップの有無、付属品など確認してください。） ●庫内が、熱いまま調理しませんでしたか。 （庫内の温度が下がるまで待ってください。） ●食品の量は適当でしたか。 ●庫内の上面や底面が汚れていませんか。 ●メニューを正しく選んで調理開始しましたか。
現在の食品の温度表示が設定温度近くになっているのに、なかなか終了しない。	●まだ低い温度の部分がある場合、設定温度近くの表示で、しばらく終了しない場合がありますが、故障ではありません。

仕様

電源	AC100V　50Hz-60Hz共用		
定格消費電力	電子レンジ1450W（14.6A）、ヒーター加熱1380W（13.8A）		
高周波出力	1000W・600W・500W連続・200W相当　出力切換		
発振周波数	2450MHz		
ヒーター	熱風1330W・グリル1100W・スチーム900W		
温度調節範囲	発酵（30、35、40、45℃）、100～300℃※		
質量（重量）	22kg		
外形寸法	390（高さ）×500（幅）×460（奥行）mm		
庫内有効寸法	255（高さ）×400（幅）×300（奥行）mm		
コードの長さ	1.4m	区分名	F
電子レンジ機能の年間消費電力量	67.0kWh/年	オーブン機能の年間消費電力量	16.3kWh/年
年間待機時消費電力量	0kWh/年	年間消費電力量	83.3kWh/年
タイマー時限	レンジ1000W：**15分** スチーム（蒸し）：**25分** レンジ600W・レンジ500W・スチームレンジ・グリル：**30分** レンジ200W・石窯オーブン・発酵：**90分** 過熱水蒸気・ハイブリッド石窯：**60分**		

※石窯オーブン温度を260℃以上に設定したときは、調理開始後30分で250℃に切り換わります。300℃での運転時間は約10分です。過熱水蒸気・ハイブリッド石窯で設定できる温度は250℃までです。
また、設定温度が270℃以上のときは予熱温度は270℃になります。温度は庫内が空の状態で中心部で測定しています。庫内に食品や付属品を入れて温度を測定すると、温度が合わないことがあります。（料理を作る場合は、料理集の温度を目安にしてください）

- この製品は、日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では、使用できません。また、アフターサービスもできません。
- 実際にお使いになるときの消費電力量は、使用回数や使用時間、食品の量、周囲温度などによって変化しますので、あくまで目安としてご覧ください。
- 年間消費電力量は省エネ法・特定機器「電子レンジ」測定方法による数値です。（区分名も同法に基づいています）

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証書（別添）

- この東芝過熱水蒸気コンベクションレンジには、保証書を別途添付しております。
- 保証書は、必ず「お買い上げ日、販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。
- この東芝過熱水蒸気コンベクションレンジの保証期間は、お買い上げいただいた日から1年です。ただし発振管（マグネトロン）は2年です。その他、詳しくは保証書をご覧ください。

補修用性能部品の保有期間

- 過熱水蒸気コンベクションレンジの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

部品について

- 修理のために取りはずした部品は、特段のお申し出がない場合は弊社にて引き取らせていただきます。
- 修理の際、弊社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびに、お取り扱い・お手入れに関するご不明な点は
お買い上げの販売店にご相談ください。

販売店に修理のご相談ができない場合

東芝家電修理ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-41**

電話で24時間365日お応えします

携帯電話・PHSからのご利用は
東日本地区（北海道、東北、関東、甲信越、東海、沖縄県）**044-543-0220**
西日本地区（上記以外）**06-6440-4411**

お買い物・お取り扱いのご相談

東芝家電ご相談センター

フリーダイヤル **0120-1048-86**

携帯電話・PHSからのご利用は **03-3426-1048**
FAX **03-3425-2101（365日：8:00～20:00受付）**

- 「東芝家電修理ご相談センター」「東芝家電ご相談センター」は東芝テクノネットワーク株式会社が運営しております。
- お客様からご提供いただいた個人情報は、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社にお客様の個人情報を提供する場合があります。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 145～153ページの表に従って調べていただき、なお異常があるときは、使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証期間中は

- 保証書の規定に従って、販売店が修理させていただきます。なお、修理に際しましては、保証書をご提示ください。

保証期間が過ぎている場合は

- 修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

修理料金のしくみ

修理料金は技術料・部品代・出張料等で構成されています。	
技術料	故障した商品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	商品のある場所へ、技術員を派遣する料金です。

ご連絡いただきたい内容

品　名	過熱水蒸気コンベクションレンジ
形　名	ER-D350
お買い上げ日	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください
お名前	
電話番号	
訪問希望日	
便利メモ	電話番号

お買い上げ店名を記入されておくと便利です。

ご転居のときは

- この東芝過熱水蒸気コンベクションレンジは、電源周波50Hz-60Hz共用です。周波数の異なる地域に、ご転居されてもそのままお使いいただけます。

長年ご使用の電子レンジの点検をぜひ！

愛情点検

このような症状はありませんか。

- 電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。
- キーを押し、調理を開始しても食品が加熱されない。
- 自動的に切れないことがある。
- 使用中に異常な音や臭いが出ることがある。
- 庫内のカバーや壁面が汚れ、スパーク（火花）または煙が出ることがある。
- その他の異常や故障がある。

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜いて、必ずお買い上げの販売店に点検・修理を依頼してください。（技術のあるサービスマン以外の人は絶対にキャビネットをはずさないでください。）

東芝過熱水蒸気コンベクションレンジ

形名 *ER-D350*

東芝コンシューママーケティング株式会社

家電事業部

〒101-0021　東京都千代田区外神田2-2-15（東芝昌平坂ビル）

4451805101-1